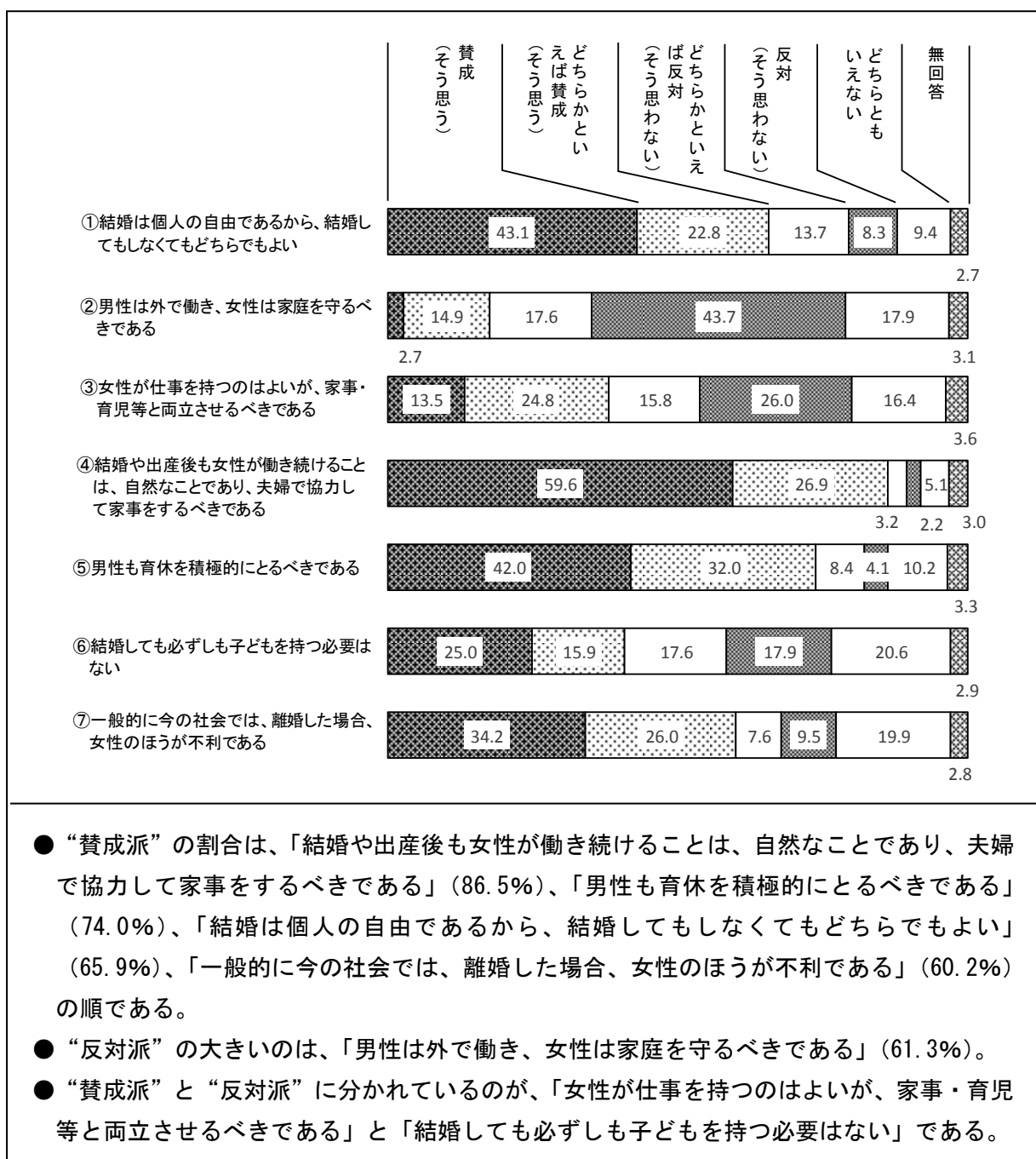


## 2 家庭・結婚観、地域活動について

### (1) 結婚、家庭、離婚に関する考え方

問8 あなたは、結婚、家庭、離婚に関する次のような考え方をどう思いますか。

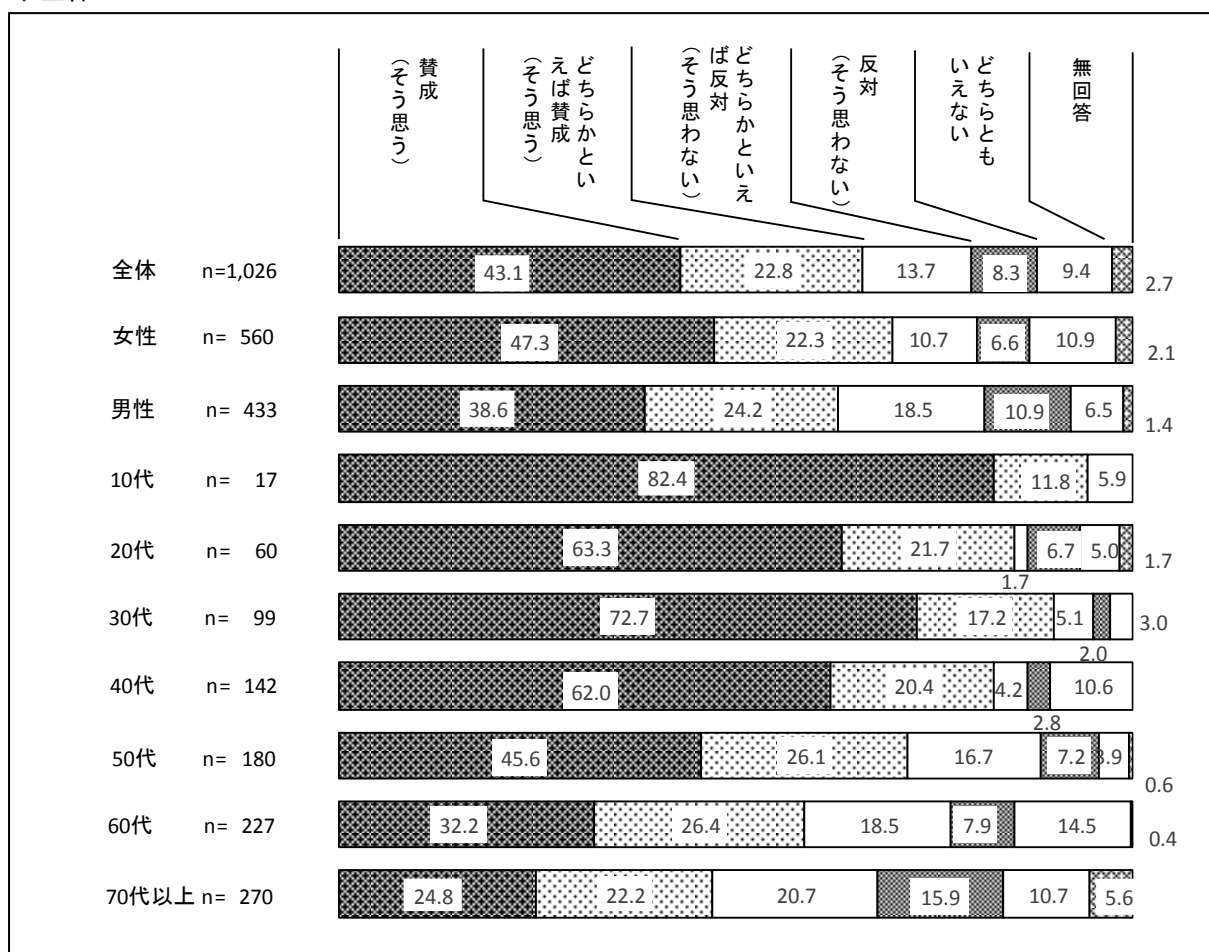
◇全体



※ “賛成派” とは、「賛成」と「どちらかといえば賛成」の割合の合計。  
 “反対派” とは、「反対」と「どちらかといえば反対」の割合の合計。

①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

◇全体



- 全体では、“賛成派”が65.9%、“反対派”が22.0%、“どちらともいえない”が9.4%。
- “賛成派”は、女性が男性を上回る。年齢別では、10代をはじめ、30代、20代、40代など若い世代の割合が特に大きい。
- “反対派”は、男性が女性を上回り、年齢別では、50代～70代以上の中高年代に多い。
- “賛成派”と“反対派”に割合が分かれているのは、70代以上である。

◇性別

“賛成派”は、女性（69.6%）が男性（62.8%）を6.8ポイント上回る。“反対派”は、男性（29.4%）が女性（17.3%）を12.1%上回る。

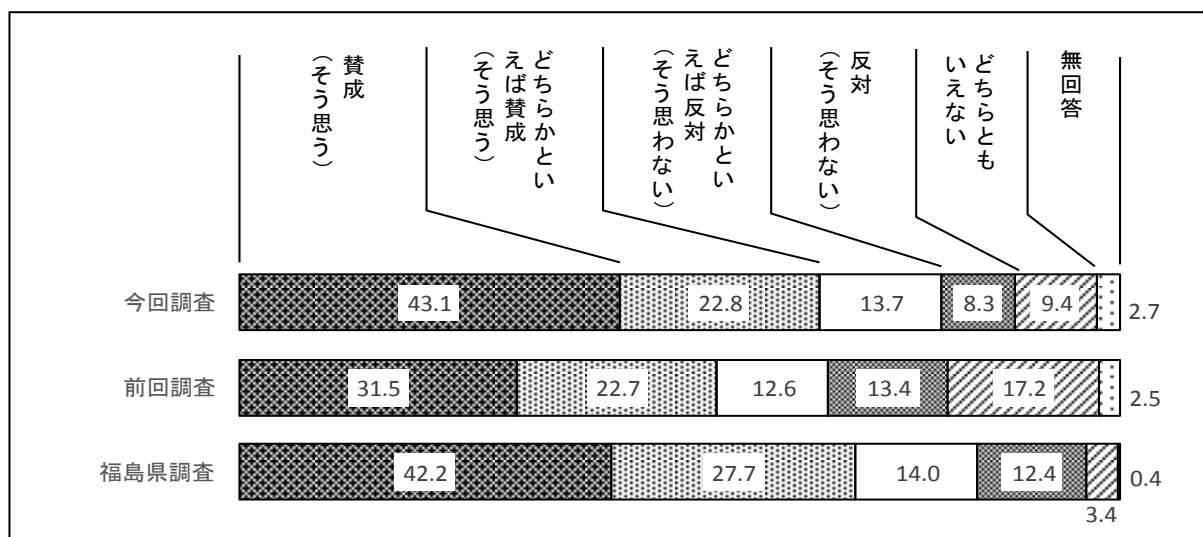
◇年齢別

“賛成派”は、10代（94.2%）、30代（89.9%）、20代（85.0%）、40代（82.4%）と若い年代での割合が大きい。“反対派”は、70代以上（36.6%）、60代（26.4%）、50代（23.9%）と中高年代に多い。70代以上では、“賛成派”（47.0%）と“反対派”（36.6%）に分かれている。

◆前回調査・福島県調査との比較

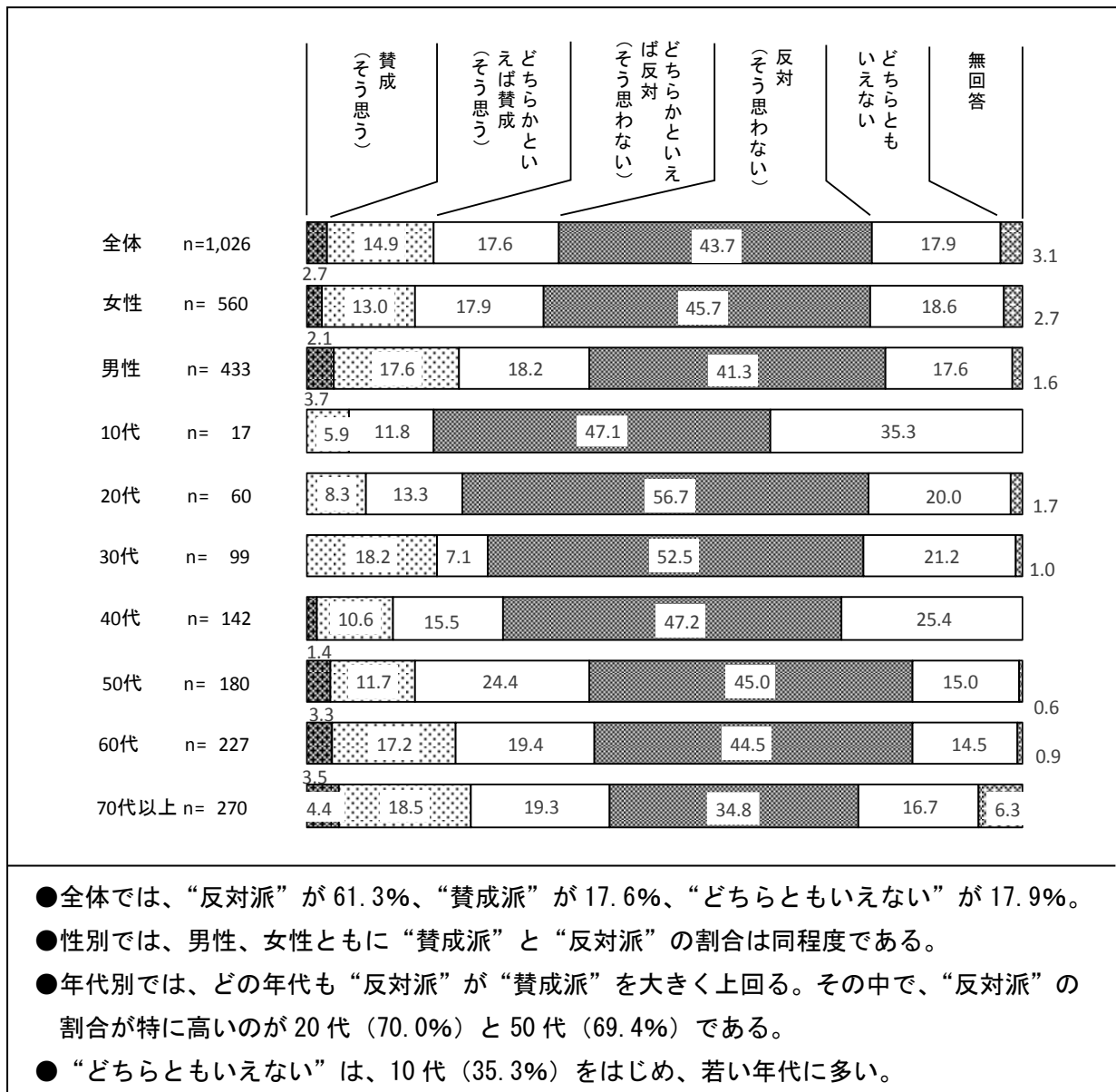
“賛成派”は、福島県が福島市（今回調査）より4ポイント多く、“反対派”は、逆に福島市（今回調査）が4.4ポイント上回る。

また、前回調査に比べて、“賛成派”は11.7ポイントと大きく増加し、“反対派”は4.0ポイント減少している。



②男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである

◇全体



◇性別

“反対派”は、女性(63.6%)が男性(59.5%)を4.1ポイント上回る。一方、“賛成派”は、男性(21.3%)が女性(15.1%)を6.2ポイント上回る。

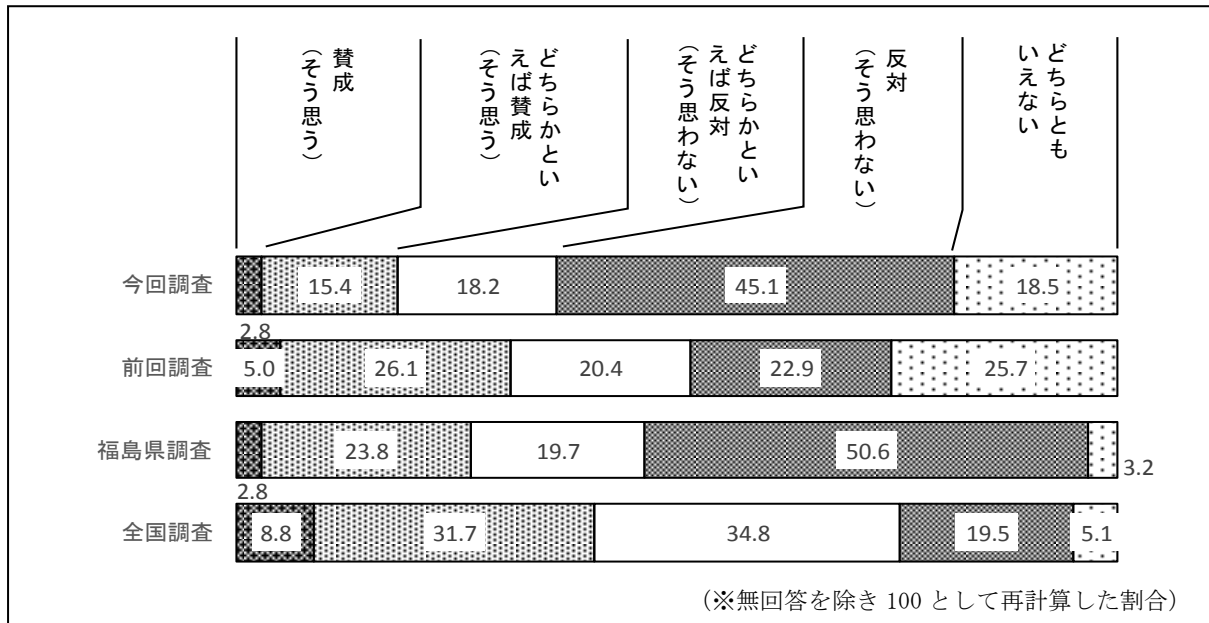
◇年齢別

“反対派”の割合は、20代(70.0%)をはじめ、50代(69.4%)、60代(63.9%)、40代(62.7%)が上位にある。一方、“賛成派”は、70代以上(22.9%)や60代(20.7%)の高年代に多い。また、“どちらともいえない”は、10代(35.3%)など若い年代の割合が多い。

◆前回調査・福島県調査・全国調査との比較

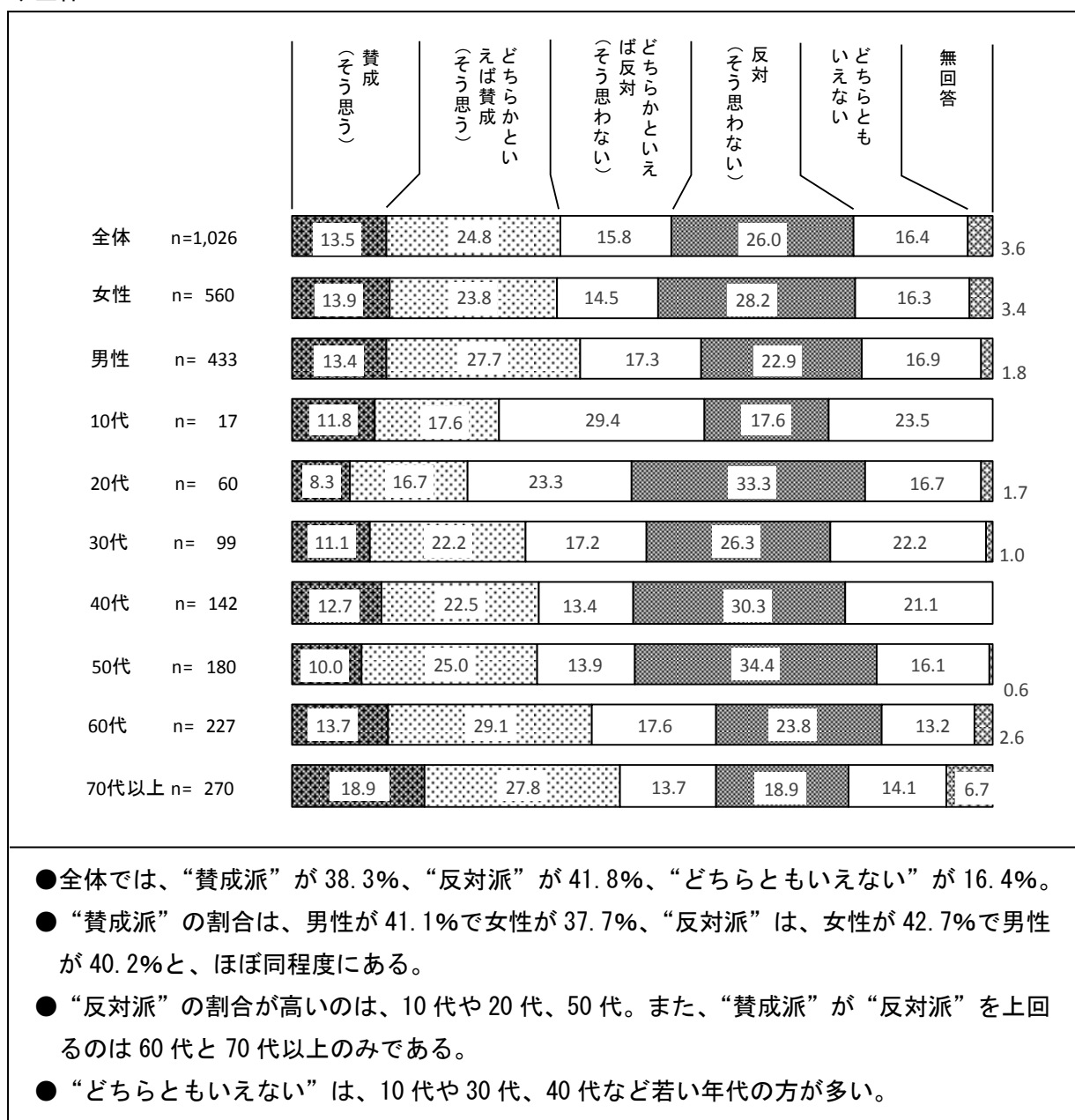
“賛成派”の割合が最も多いのが全国で、福島市（今回調査）を22.3ポイント上回り、同じく福島県は福島市（同上）より8.4ポイント多い。また、“反対派”は、福島県が最も多く、次いで福島市（同上）、全国の順となっている。

一方、前回調査と比較すると、“賛成派”は12.9ポイント減少し、“反対派”は20.0ポイントと大きく増加している。



③女性が仕事を持つのはよいが、家事・育児等と両立させるべきである

◇全体



◇性別

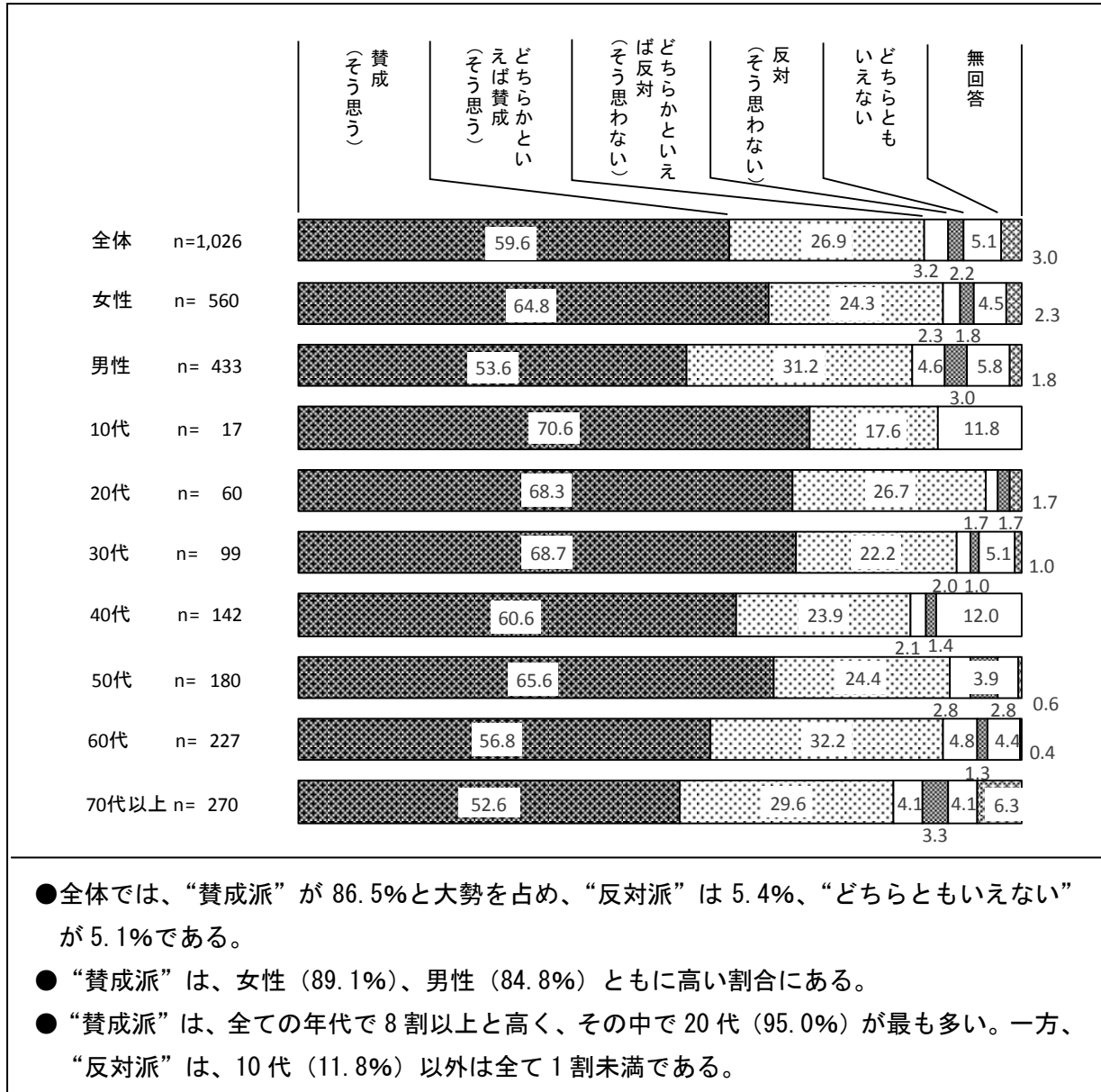
“賛成派”は、男性（41.1%）が女性（37.7%）を3.4ポイント上回り、“反対派”は、女性（42.7%）が男性（40.2%）をわずか2.5ポイント上回る。

◇年齢別

“反対派”割合が上位にあるのは、20代（56.6%）と50代（48.3%）、10代（47.0%）であり、“賛成派”の割合が高いのは70代以上（46.7%）と60代（42.8%）の高年代である。また、“賛成派”の割合が“反対派”を上回るのは、60代と70代以上のみである。

④結婚や出産後も女性が働き続けることは、自然なことであり、夫婦で協力して家事をするべきである

◇全体



◇性別

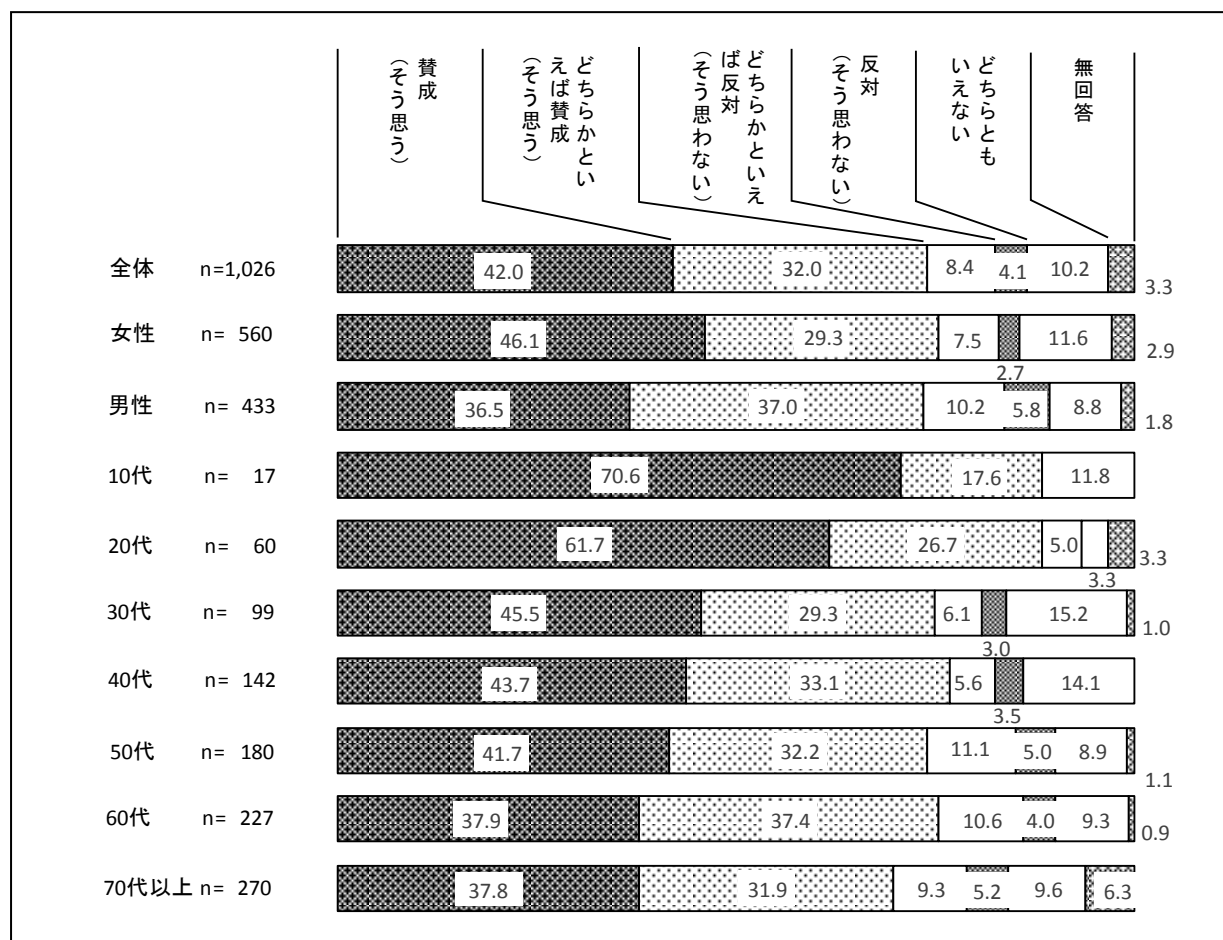
“賛成派”は、女性(89.1%)が男性(84.8%)を4.3ポイント上回る。“反対派”は、男性(7.6%)が女性(4.1%)を3.5ポイント上回る。

◇年齢別

“賛成派”は、20代(95.0%)をトップに、30代(90.9%)、50代(90.0%)が上位にあり、最も低いのが70代以上(82.2%)である。“反対派”は、10代(11.8%)以外は1割未満である。

⑤男性も育休を積極的にとるべきである

◇全体



- 全体では、“賛成派”が74.0%、“反対派”が12.5%、“どちらともいえない”が10.2%。
- “賛成派”は、女性（75.4%）と男性（73.5%）で近似。“反対派”は男性（16.0%）が女性（10.2%）を上回る。
- どの年代も“賛成派”が7割以上と高く、その中でも、10代と20代の若い年代の割合が特に大きい。一方、“反対派”は、50代以上の中高年代と10代で1割台となっている。

◇性別

“賛成派”は、女性（75.4%）、男性（73.5%）でほぼ同じ。“反対派”は、男性（16.0%）が女性（10.2%）を5.8ポイント上回る。

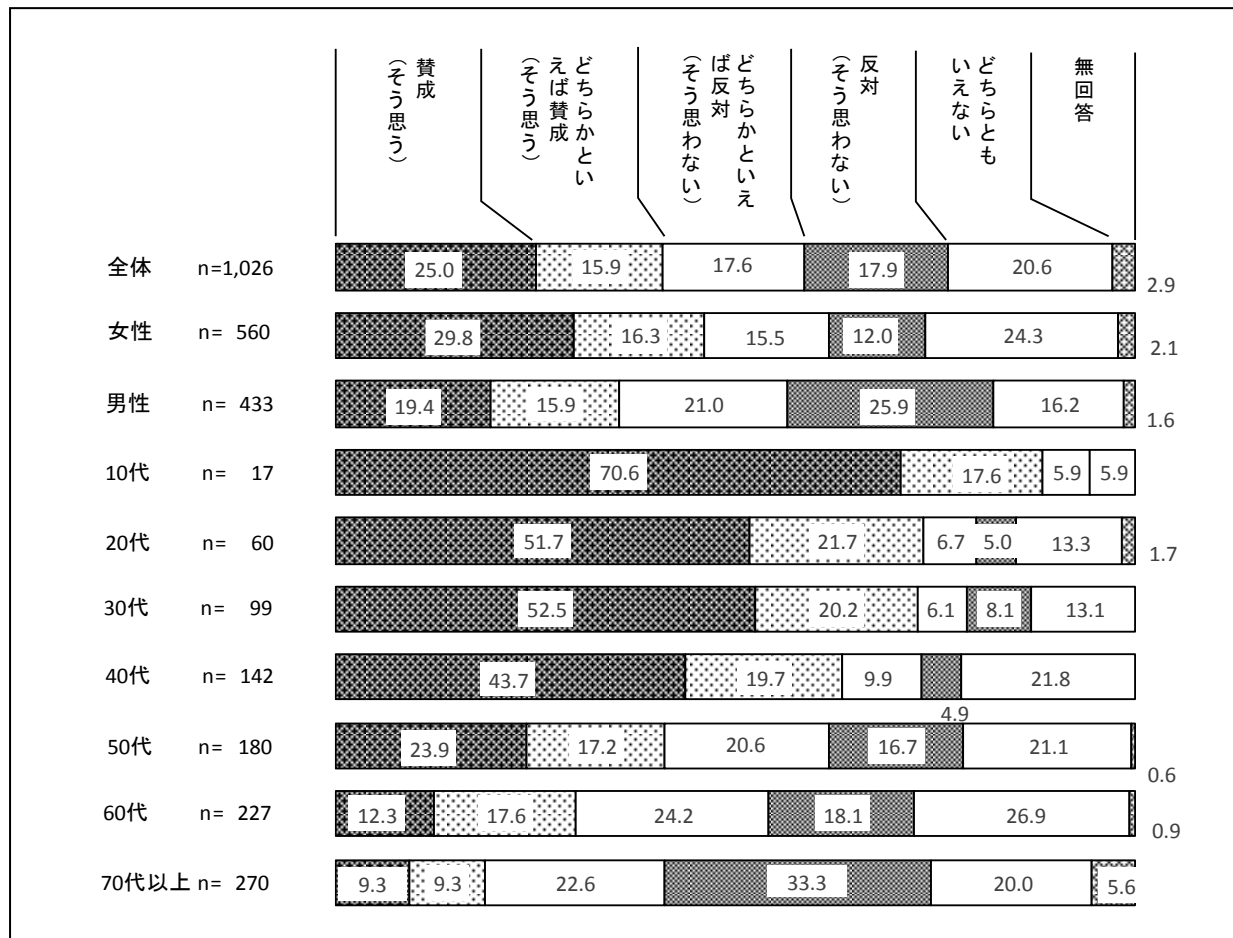
◇年齢別

“賛成派”は、10代（88.2%）と20代（88.4%）の若い年代が特に高く、70代以上（69.7%）が最も少ない。“反対派”は50代（16.1%）と60代（14.6%）、70代以上（14.5%）の中高年代に多い。



⑥結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない

◇全体



- 全体では、“賛成派”が40.9%、“反対派”が35.5%、“どちらともいえない”が20.6%。
- “賛成派”は、女性が男性を上回り、“反対派”は男性が女性を上回る。
- “賛成派”は、10代（88.2%）が最も高く、年代が上がるに伴い減少し70代以上（18.6%）が最も低い。一方、“反対派”は年代が上がるにともない割合も増え、70代以上（55.9%）が最も多い。また、50代では“賛成派”と“反対派”が拮抗し、この50代を境に、若い年代では“賛成派”が上回り、高年代では“反対派”の割合が上回る。

◇性別

“賛成派”は、女性（46.1%）が男性（35.3%）を10.8ポイント上回り、“反対派”は、男性（46.9%）が女性（27.5%）を19.4ポイント上回る。

◇年齢別

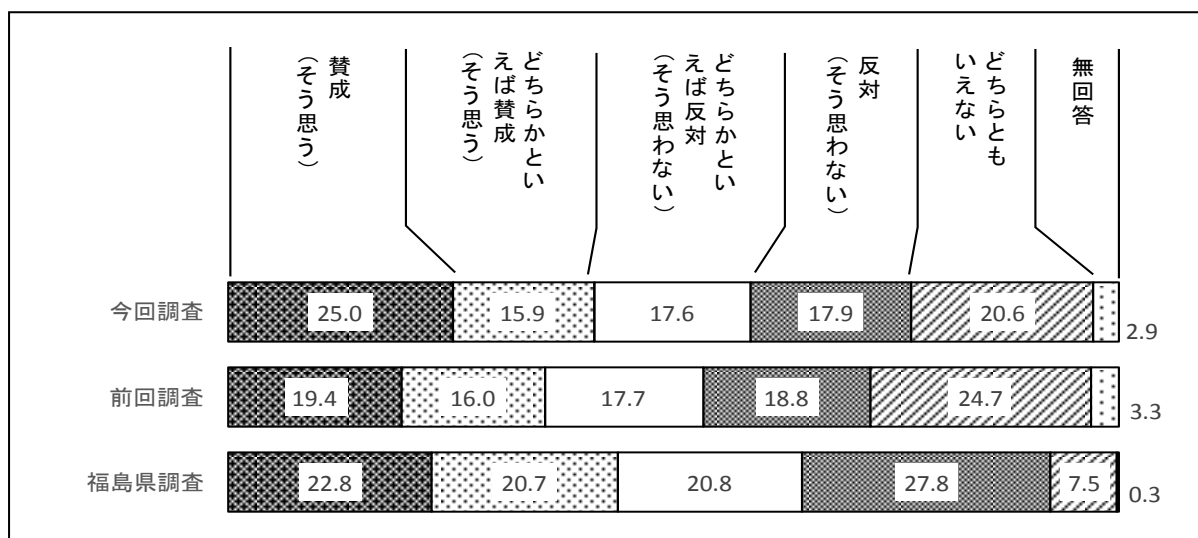
“賛成派”の割合は、10代（88.2%）～40代（63.4%）の若い年代で高く、“賛成派”と“反対派”に分かれる50代を境に、60代、70代以上では“反対派”の割合が“賛成派”を上回る。

◆前回調査・福島県調査との比較

福島市（今回調査）は、“賛成派”の割合が“反対派”より5.4ポイント多いが、福島県の場合は、“反対派”の方が“賛成派”を5.1ポイント上回る。

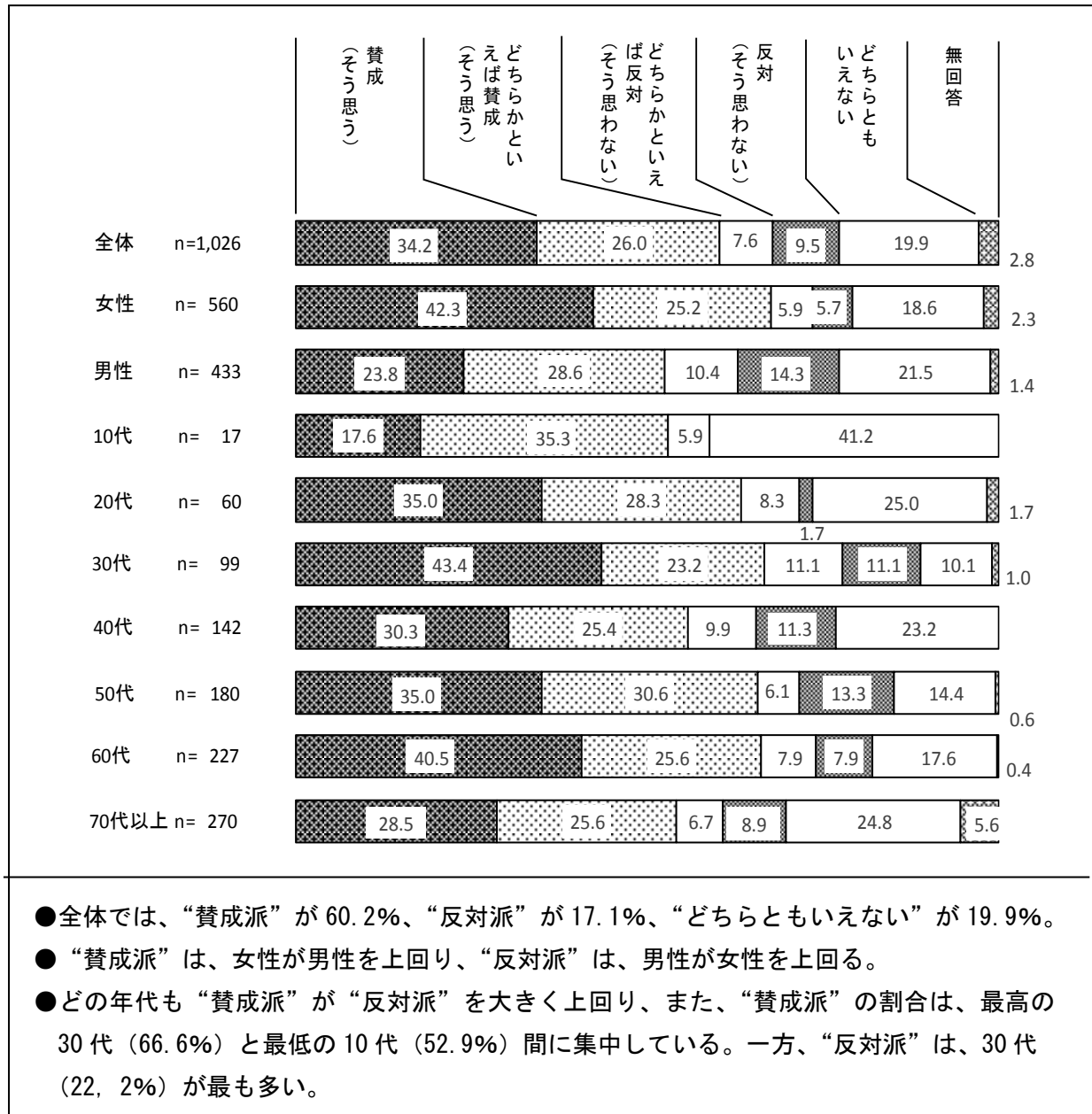
“賛成派”においては、福島県の方が福島市（今回調査）よりわずかに多く、“反対派”では同じく福島県が13.1ポイントと大きく上回る。

前回調査と比べると、“賛成派”の割合は、福島市（今回調査）の方が5.5ポイント多く、“反対派”はほぼ同じ割合である。



⑦一般的に今の社会では、離婚した場合、女性のほうが不利である

◇全体



◇性別

“賛成派”は、女性（67.5%）が男性（52.4%）を15.1ポイント上回り、“反対派”は、男性（24.7%）が女性（11.6%）を13.1ポイント上回る。

◇年齢別

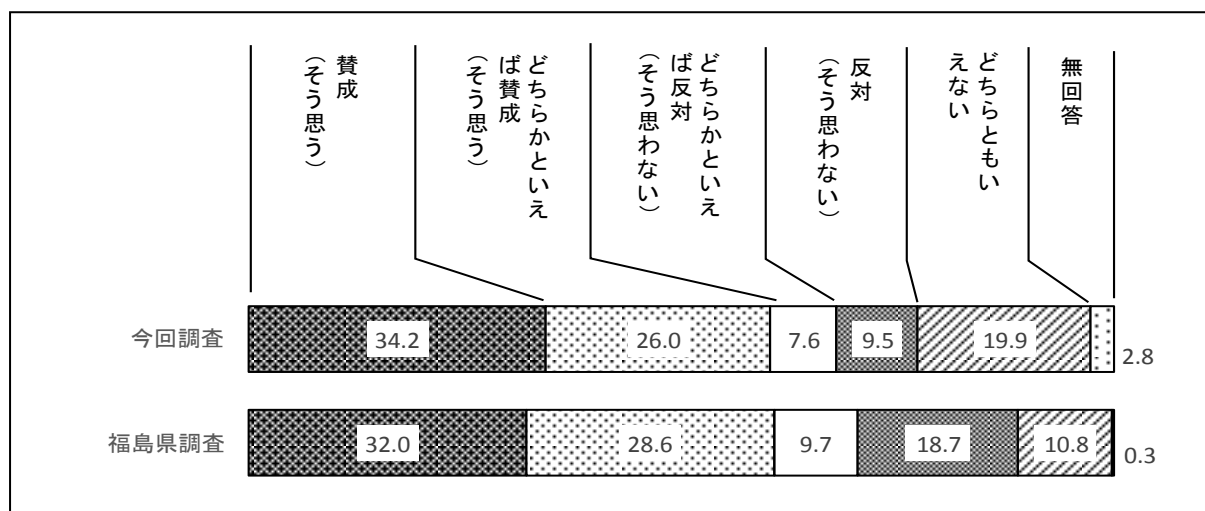
“賛成派”の割合が大きいのが、30代（66.6%）と60代（66.1%）、50代（65.6%）など。“反対派”は30代（22.2%）や40代（21.1%）が多い。また、“どちらともいえない”は、10

代（41.2%）で極端に多い。

#### ◆福島県調査との比較

福島市（今回調査）も福島県も“賛成派”の割合が“反対派”を大きく上回る。

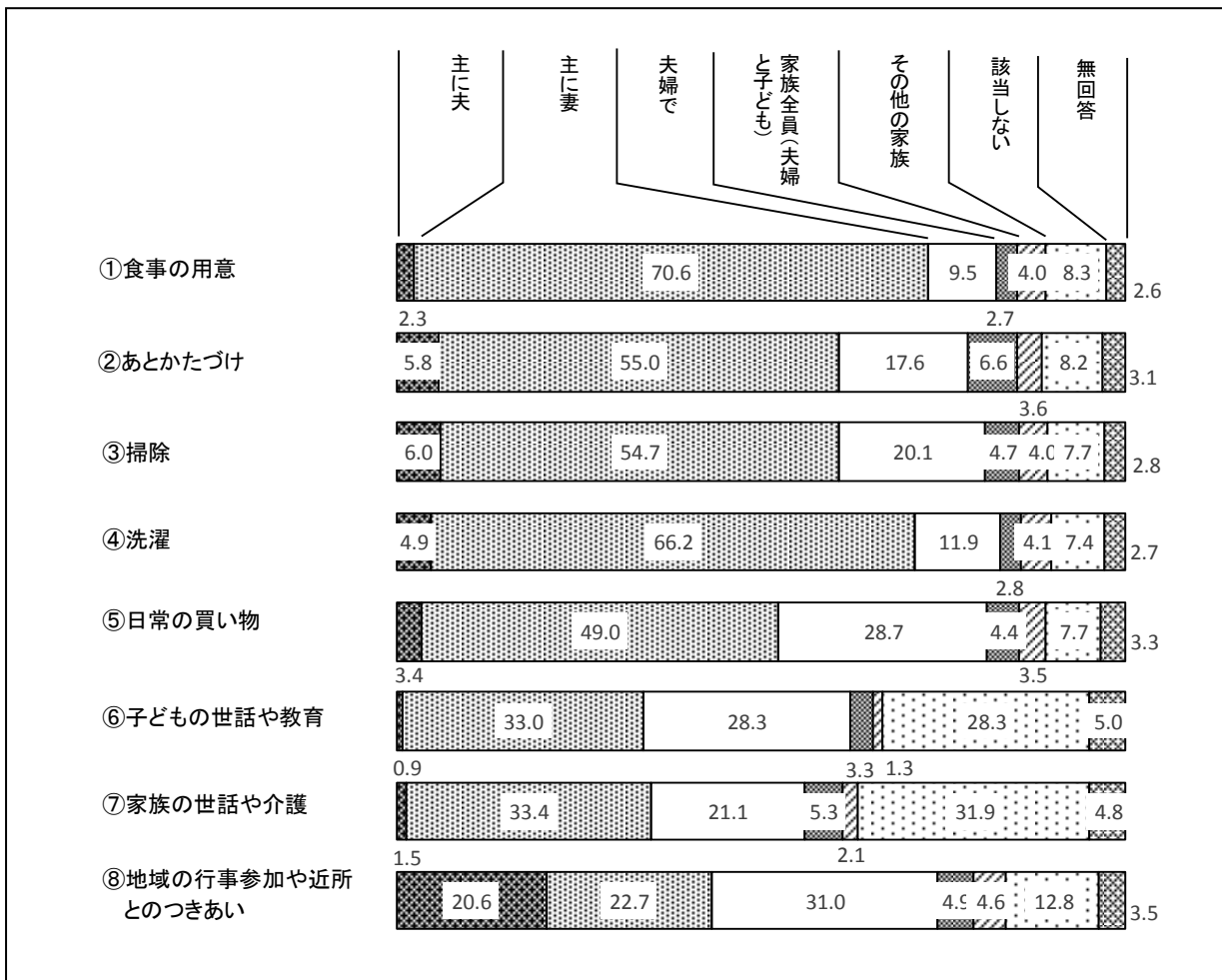
また、“賛成派”の割合は、福島市（今回調査）と福島県はほぼ同じであるが、“反対派”は、福島県が11.3ポイント上回る



(2) 家事、育児や介護等における役割分担

問9 あなたの家庭では、次にあげるような家事、育児や介護等を、主にどなたがおこなっていますか。

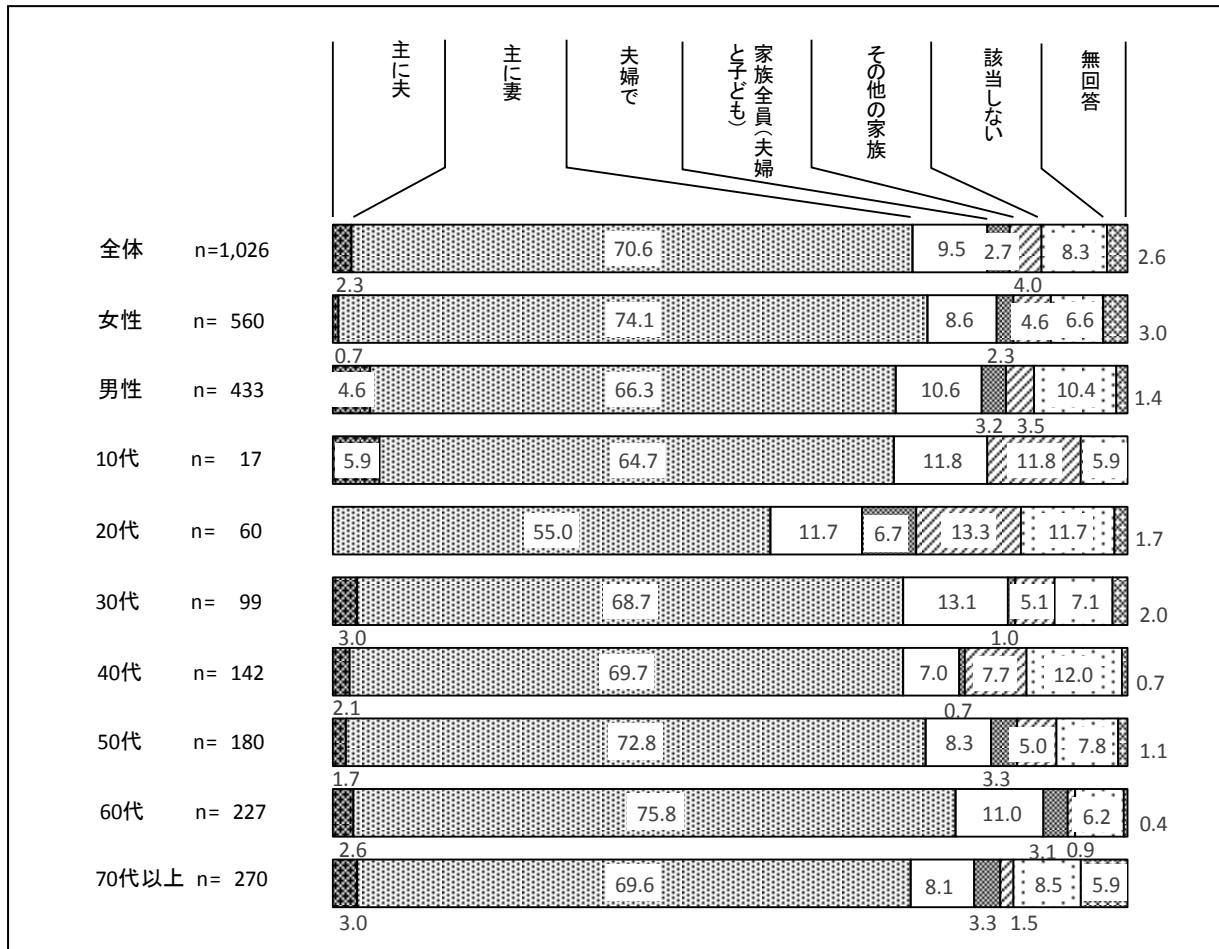
◇全体



- “主に妻”の割合が、最も大きいのが「食事の用意」(70.6%)、次いで「洗濯」(66.2%)である。「あとかたづけ」と「掃除」も過半数を占める。
- “夫婦で”の割合が大きいのは、「地域の行事参加や近所とのつきあい」(31.0%)や「日常の買い物」(28.7%)、「子どもの世話や教育」(28.3%)である。
- “主に夫”は、「地域の行事参加や近所とのつきあい」(20.6%)に多く、また、“家族全員(夫婦と子ども)”は、「あとかたづけ」や「家族の世話や介護」などに少し見られる。

①食事の用意

◇全体



- 全体では、“主に妻”とする割合が70.6%と圧倒的に多く、“夫婦で”は9.5%である。
- “主に妻”は、女性が男性を上回り、“夫婦で”は、男性が女性をわずかに上回る。
- “主に妻”の割合が最も高いのが60代(75.8%)で、最も低いのが20代(55.0%)である。一方、“夫婦で”の割合は、10代~30代(いずれも1割強)の若い世代にやや多い。

◇性別

“主に妻”とする割合は、女性(74.1%)が男性(66.3%)を7.8ポイント上回り、“夫婦で”は、男性(10.6%)が女性(8.6%)を2.0ポイント上回る。

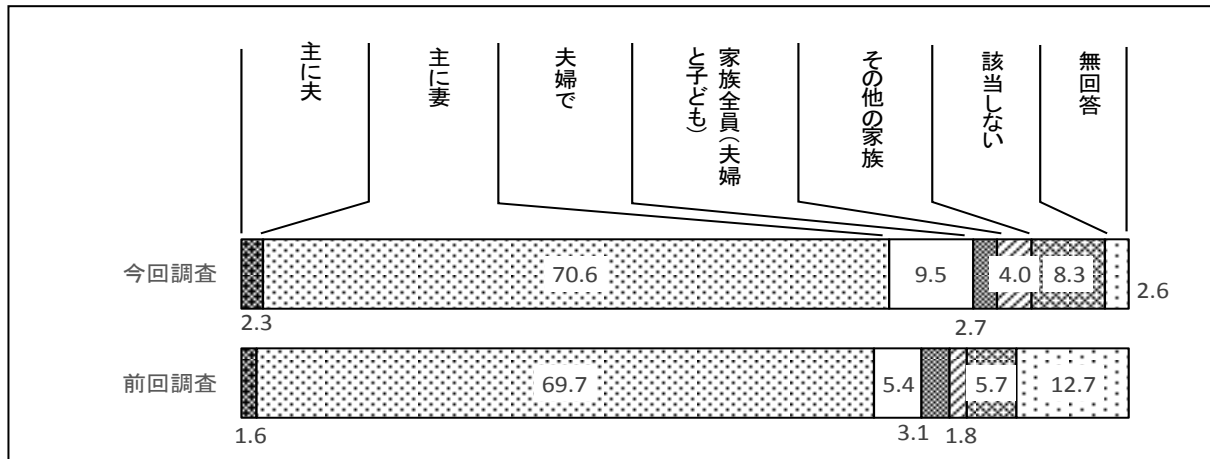
◇年齢別

“主に妻”の割合は、最も高いのが60代(75.8%)、次いで50代(72.8%)、最も低いのが20代(55.0%)である。また、“夫婦で”の割合は30代(13.1%)が最も多い。

◆前回調査との比較

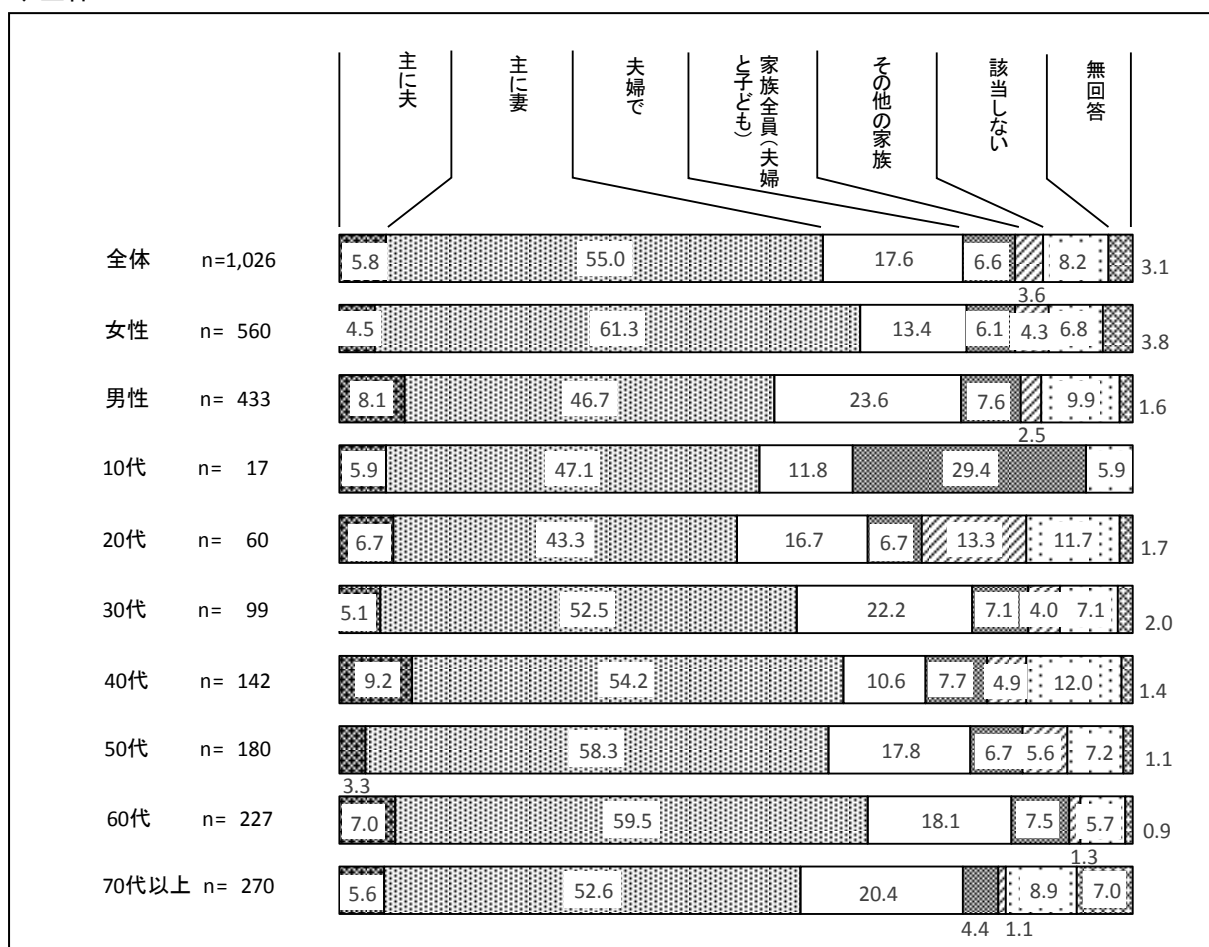
“主に妻”の割合は、前回調査とほぼ変わらず、約7割で圧倒的に多い。

一方、“夫婦で”は、今回調査が前回調査を4.1ポイント上回る以外は、大きな変化は見られない。



## ②あとかたづけ

### ◇全体



- 全体では、“主に妻”が55.0%、“夫婦で”が17.6%、“家族全員（夫婦と子ども）”と“主に夫”はともに1割未満である。
- “主に妻”は、女性が男性を上回り、“夫婦で”は、男性が女性を上回る。
- “主に妻”の割合はどの年代でも多く、60代（59.5%）、50代（58.3%）で特に多い。また、“夫婦で”は、どの年代も1割～2割程度。“家族全員（夫婦と子ども）”は、10代（29.4%）で著しい。

### ◇性別

“主に妻”は、女性（61.3%）が男性（46.7%）を14.6ポイント上回り、“夫婦で”は男性（23.6%）が女性（13.4%）を10.2ポイント上回る。

### ◇年齢別

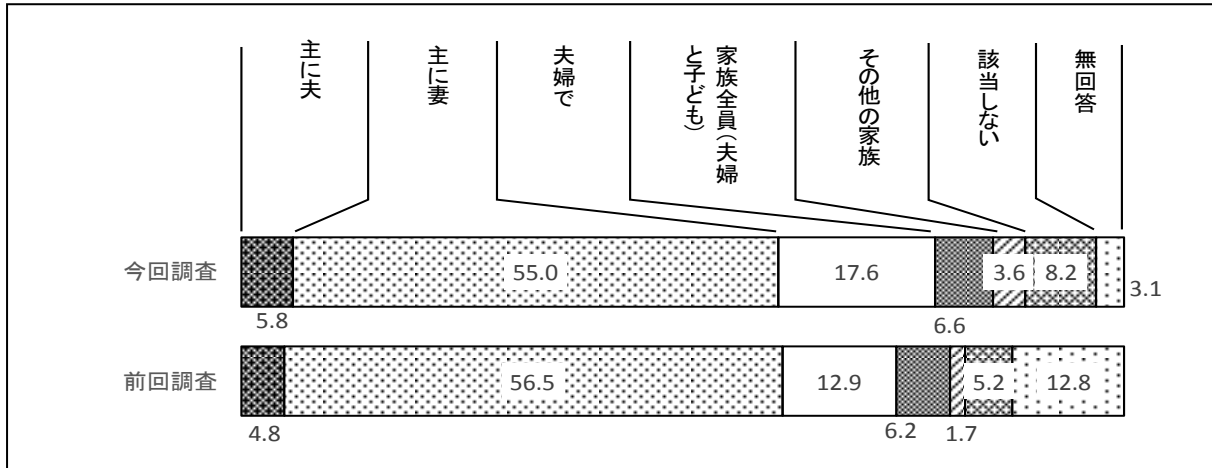
“主に妻”の割合は、60代（59.5%）、50代（58.3%）が上位にあり、20代（43.3%）が最も少ない。“夫婦で”は、30代（22.2%）と70代以上（20.4%）に多く、“家族全員（夫婦と



子ども)”は、10代（29.4%）がひと際多い。

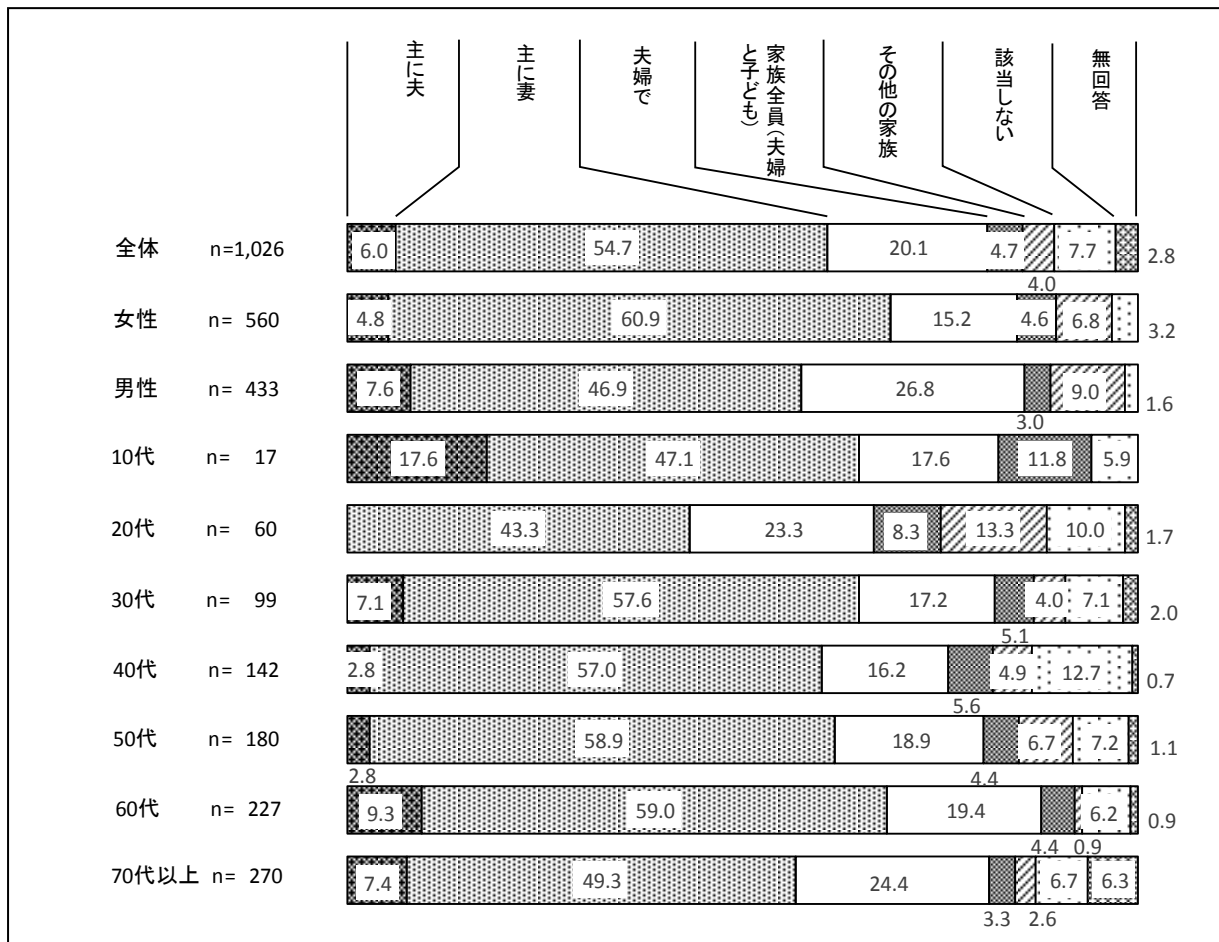
◆前回調査との比較

“主に妻”の割合は、今回調査が前回調査よりわずか1.5ポイント下回る程度で、大きな変化はない。一方、“夫婦で”は、今回調査が前回調査より4.7ポイント、“その他の家族”が1.9ポイントそれぞれ増加した以外は、ほぼ同じである。



### ③掃除

#### ◇全体



- 全体では、“主に妻”が54.7%、“夫婦で”が20.1%、“主に夫”と“家族全員（夫婦と子ども）”がともに1割未満である。
- “主に妻”は、女性が男性を上回り、“夫婦で”は、男性が女性を上回る。また、男女の割合にはやや開きがある。
- “主に妻”は、特に30代～60代の割合が高い。また、“夫婦で”は70代以上と20代、“主に夫”は10代、“家族全員（夫婦と子ども）”は10代、“その他の家族”は20代が多い。

#### ◇性別

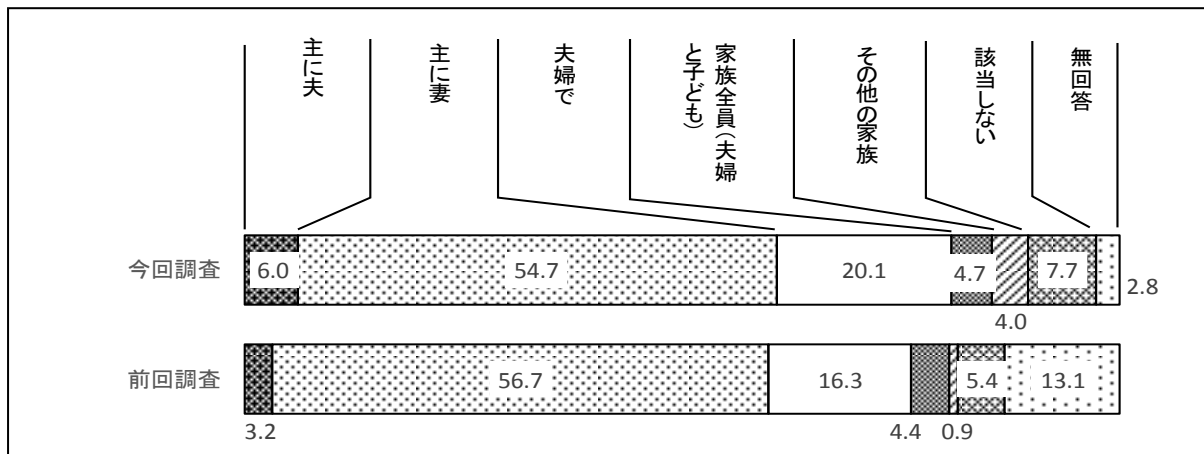
“主に妻”は、女性（60.9%）が男性（46.9%）を14ポイント上回り、“夫婦で”は、男性（26.8%）が女性（15.2%）を11.6ポイント上回る。

#### ◇年齢別

“主に妻”は、60代（59.0%）をトップに50代、30代、40代が上位を占める。また、“夫婦で”は、70代以上（24.4%）と20代（23.3%）、“主に夫”は10代（17.6%）が特に多い。

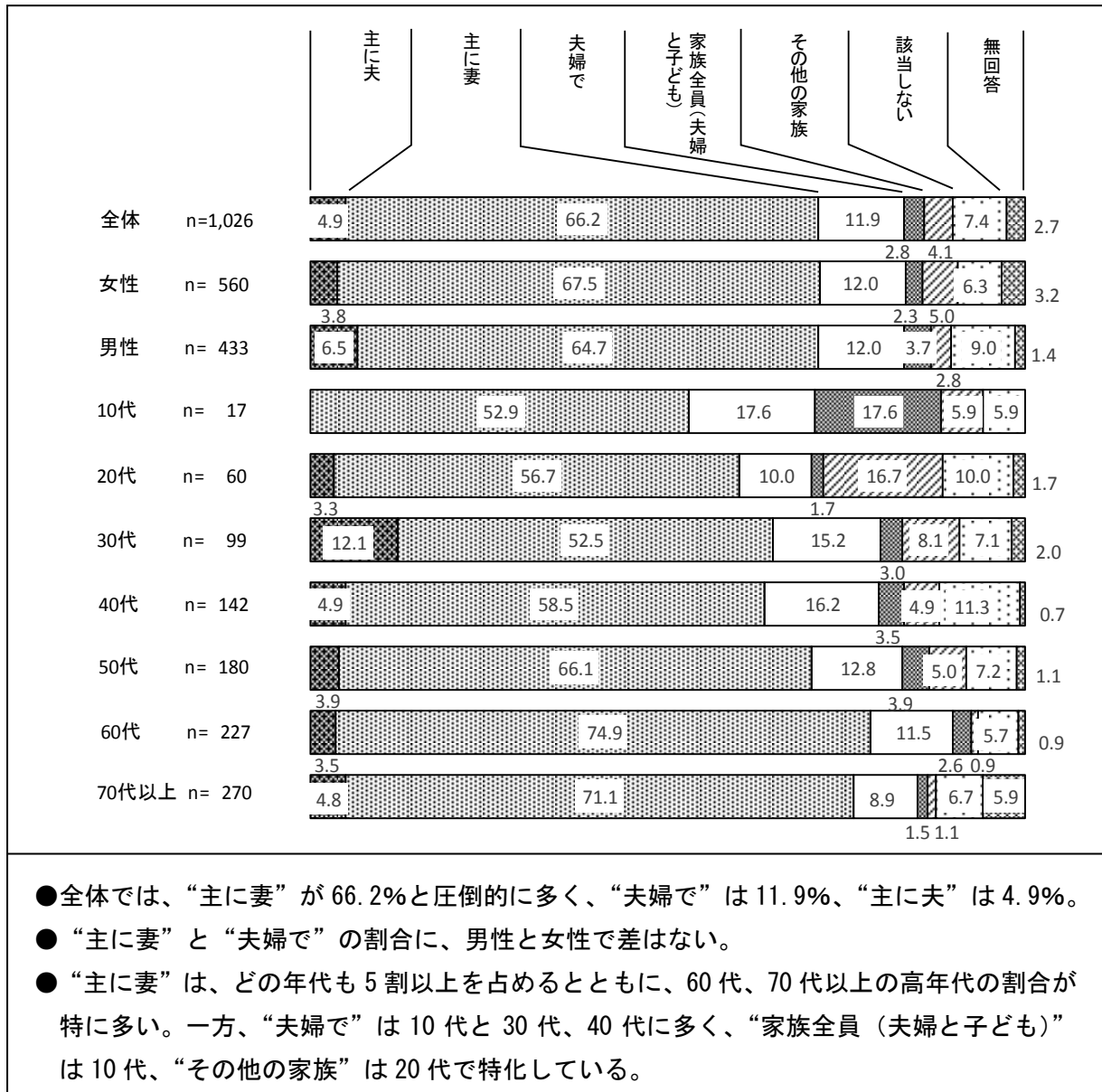
◆前回調査との比較

“主に妻”の割合は、今回調査が前回調査より2ポイントの減少と大きな変化はない。  
 一方、“夫婦で”は3.8ポイント、“主に夫”は2.8ポイント、“その他の家族”が3.1ポイントそれぞれ前回調査より多い。



#### ④洗濯

##### ◇全体



##### ◇性別

“主に妻”は、女性が67.5%で男性が64.7%、“夫婦で”は、女性、男性ともに12.0%と、男女の差はない。

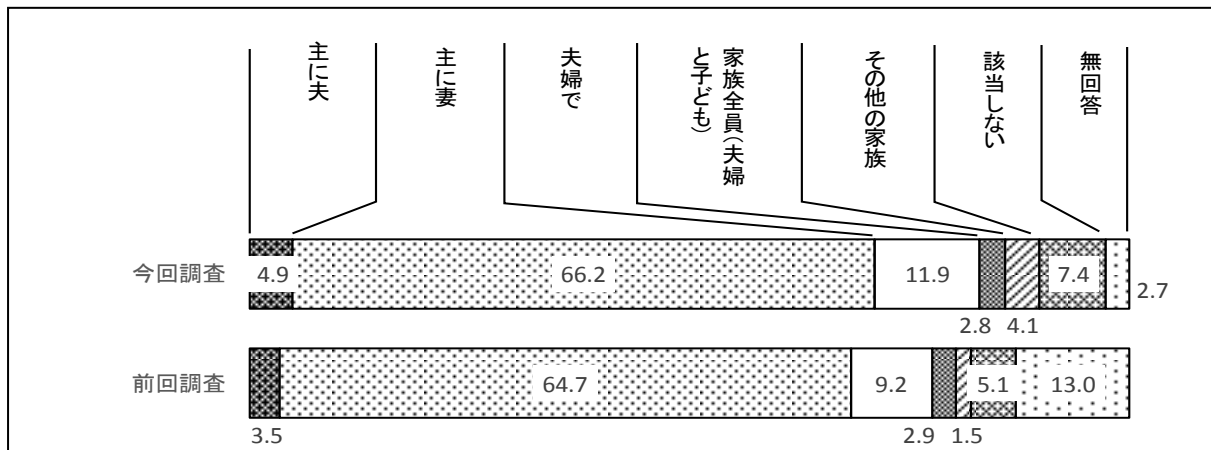
##### ◇年齢別

“主に妻”は、70代以上(71.1%)をトップに、60代(74.9%)、50代(66.1%)の中高年代が上位を占め、30代(52.5%)が最も低い。また、“夫婦で”は、10代(17.6%)や40代(16.2%)、30代(15.2%)に多く、“家族全員(夫婦と子ども)”は10代(17.6%)、“その他の家族”は

20代（16.7%）で著しい。

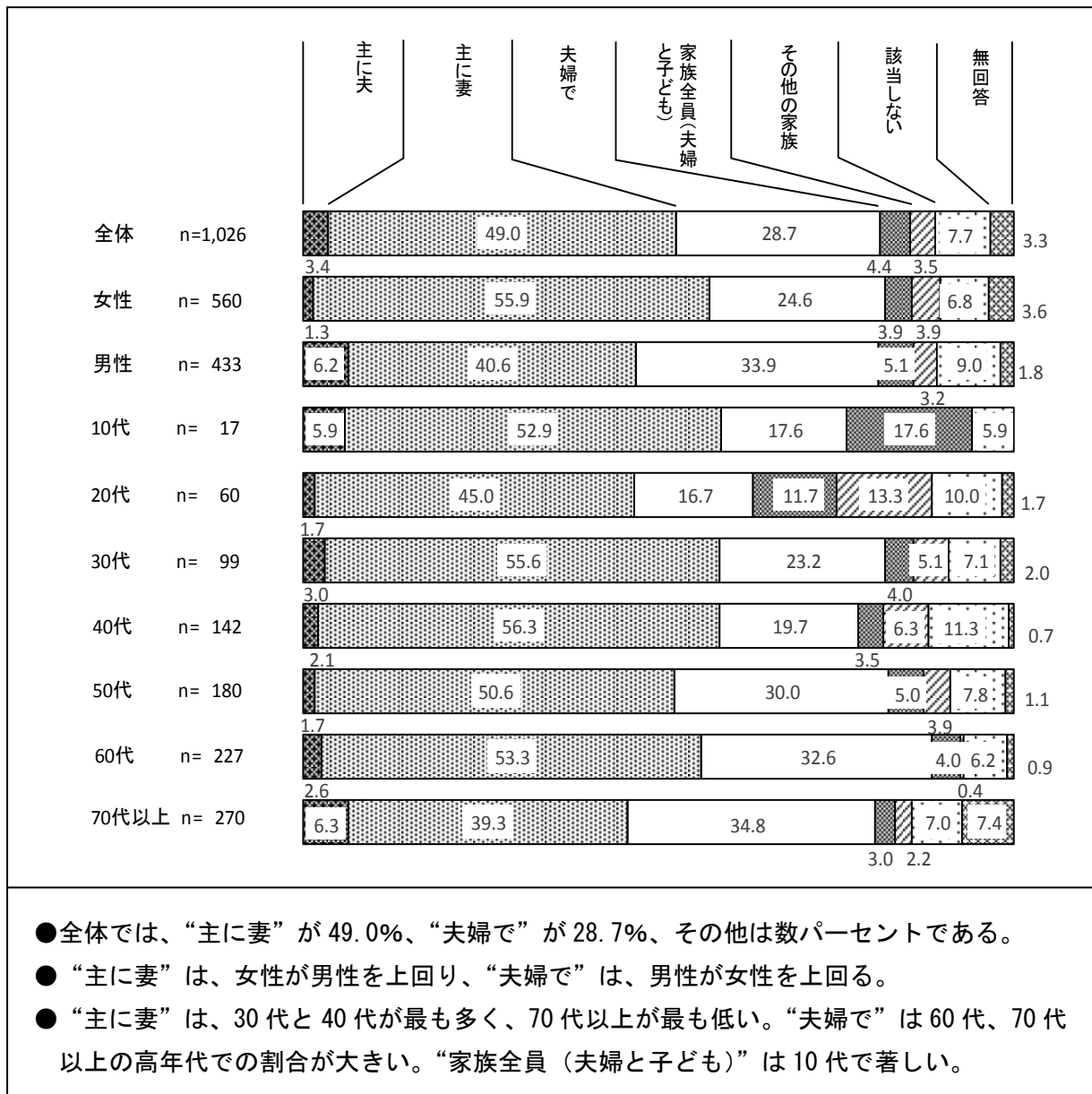
◆前回調査との比較

“主に妻”の割合は、今回調査が前回調査を若干 1.5 ポイント上回ったほか、“夫婦で”は 2.7 ポイント、“主に夫”は 1.4 ポイント、“その他の家族”が 2.6 ポイントそれぞれ前回調査より増加している。



## ⑤ 日常の買い物

### ◇ 全体



### ◇ 性別

“主に妻”は、女性(55.9%)が男性(40.6%)を15.3ポイント上回り、“夫婦で”は、男性(33.9%)が女性(24.6%)を9.3ポイント上回る。

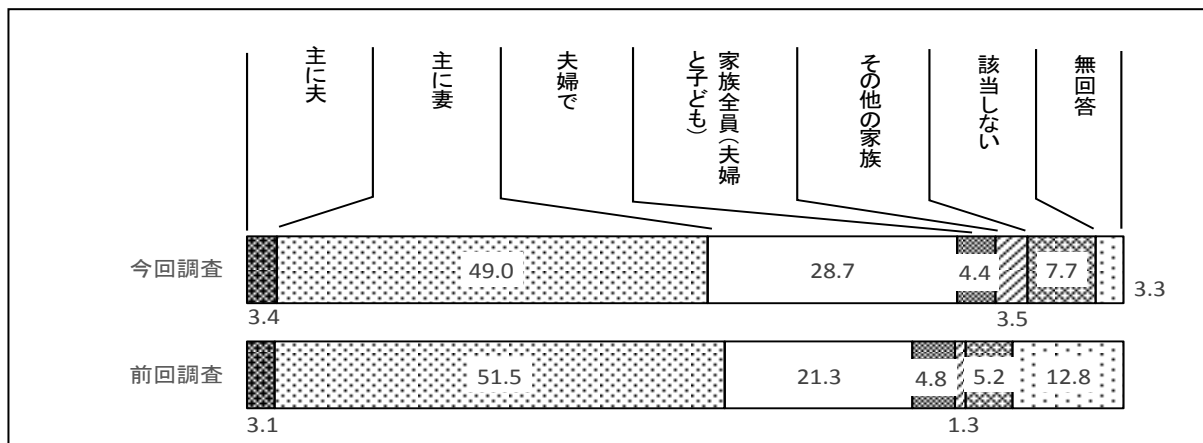
### ◇ 年齢別

“主に妻”は、40代(56.3%)と30代(55.6%)が上位にあり、70代以上(39.3%)が最も低い。“夫婦で”は50代~70代以上の中高年代の割合が大きく、“家族全員(夫婦と子ども)”は10代(17.6%)、“その他の家族”は20代(13.3%)で大きい。

◆前回調査との比較

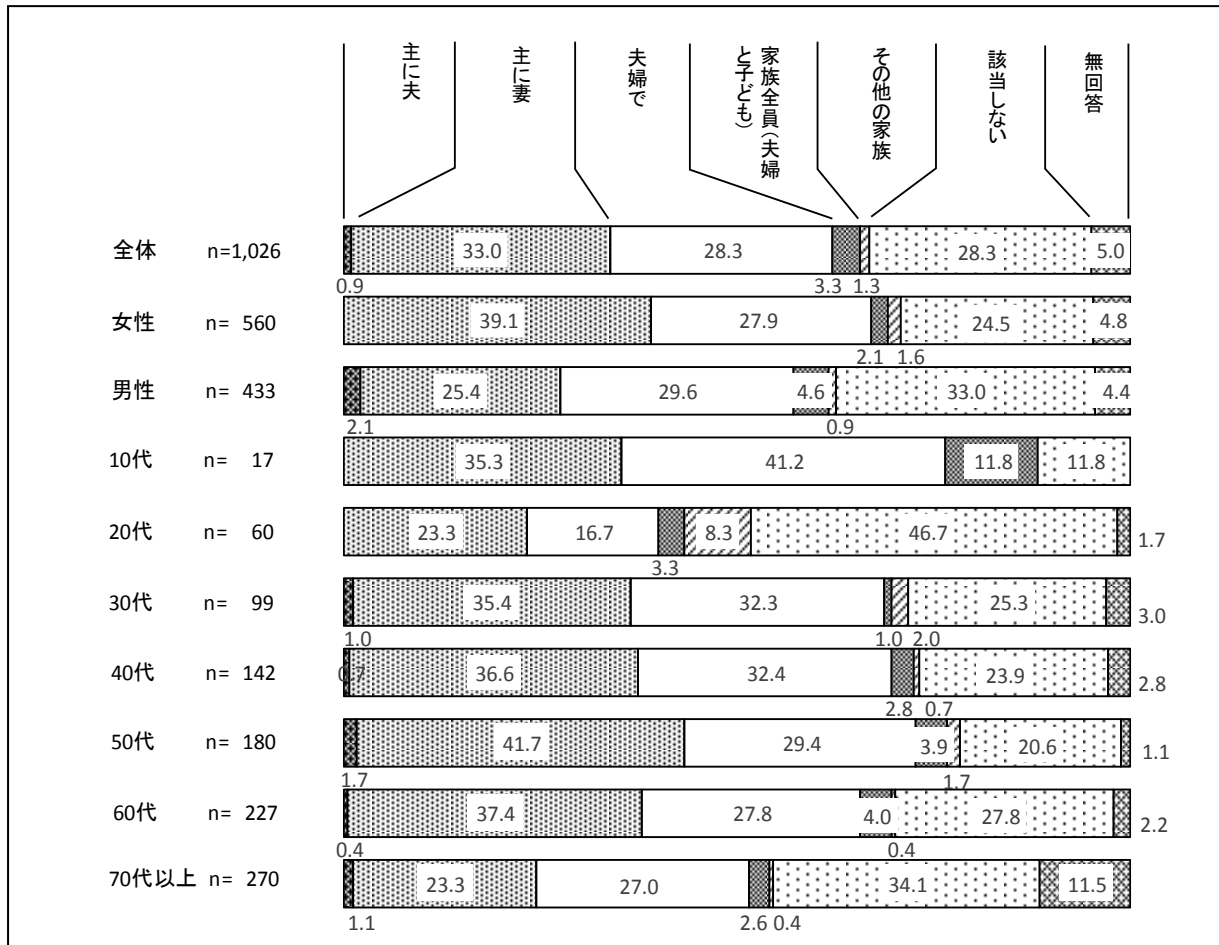
“主に妻”の割合は、今回調査が前回調査を2.5ポイント下回るが、“夫婦で”は、今回調査が前回調査より7.4ポイント増加している。

一方、“主に夫”や“家族全員（夫婦と子ども）”の割合はほぼ同じである。



## ⑥子どもの世話や教育

### ◇全体



- 全体では、“主に妻”が33.0%、“夫婦で”が28.3%、“家族全員(夫婦と子ども)”が3.3%であり、また、“該当しない”が28.3%と多い。
- “主に妻”は、女性が男性を上回り、“夫婦で”は、女性と男性がほぼ同じである。
- “主に妻”は、50代が最も多く、20代と70代以上が最も低い。“夫婦で”は、10代が最も多く、20代が最も低い。“家族全員(夫婦と子ども)”は、10代が特に多い。

### ◇性別

“主に妻”は、女性(39.1%)が男性(25.4%)を13.7ポイント上回り、“夫婦で”は、男性(29.6%)と女性(27.9%)がほぼ同じである。また、“該当しない”は男性の方が多い。

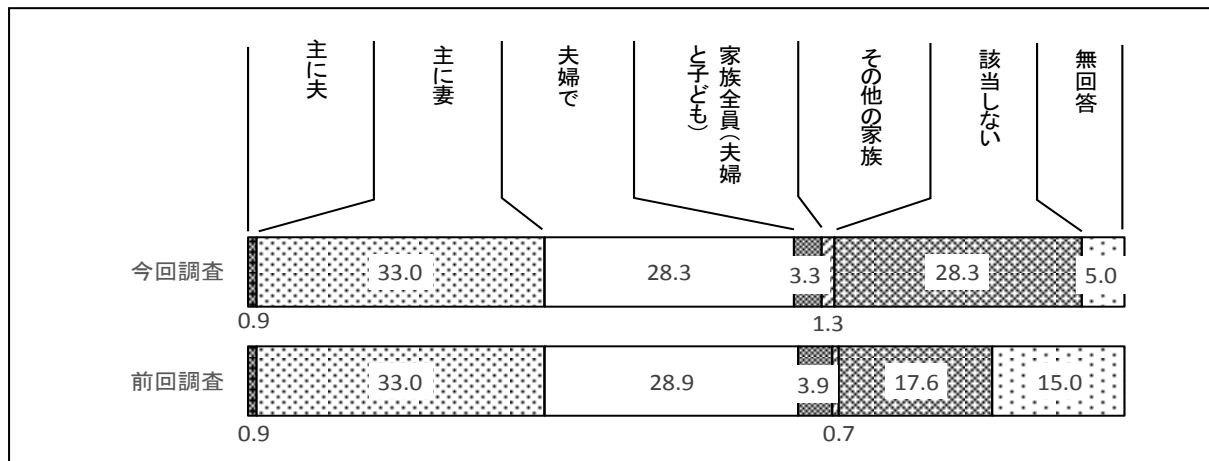
### ◇年齢別

“主に妻”は、50代(41.7%)が最も多く、20代と70代以上(ともに23.3%)が最も低い。“夫婦で”は、10代(41.2%)で著しく、20代(16.7%)が最も少ない。また、“家族全員(夫婦と子ども)”は10代(11.8%)が特に多い。



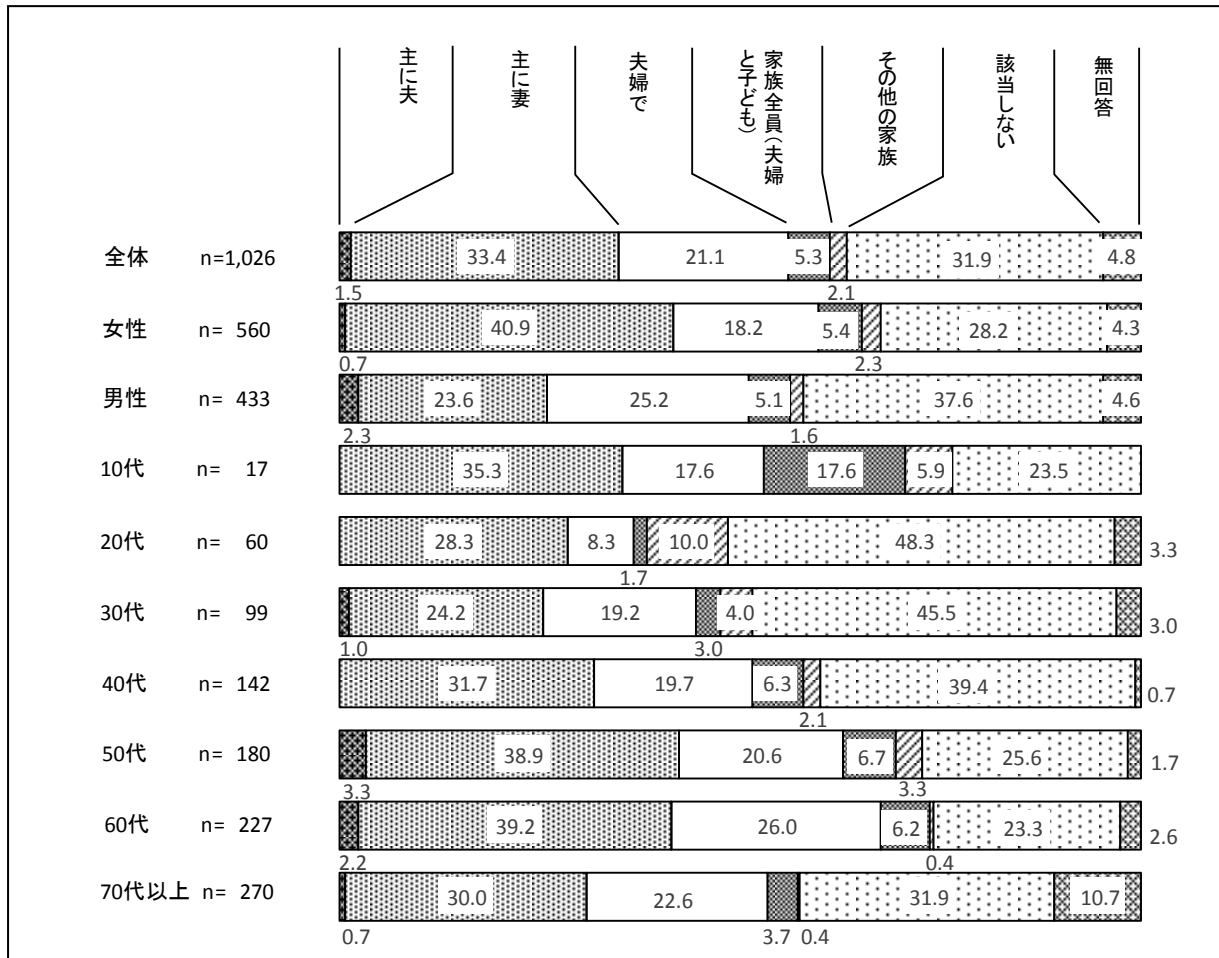
◆前回調査との比較

“該当しない”の割合が3割近くと、前回調査を大きく上回った以外は、“主に妻”や“夫婦で”の割合をはじめ、それ以外においてもほぼ変化は見られない。



⑦家族の世話や介護

◇全体



- 全体では、“主に妻”が33.4%、“夫婦で”が21.1%、“家族全員(夫婦と子ども)”が5.3%である。また、“該当しない”が31.9%と多い。
- “主に妻”は、女性が男性を大きく上回り、“夫婦で”は、男性が女性を上回る。
- “主に妻”は、50代、60代で特に多く、30代が最も低い。“夫婦で”は、60代を中心に中高年代の割合が高く、20代が最も低い。また、“該当しない”は、20代と30代で半数近くを占める。

◇性別

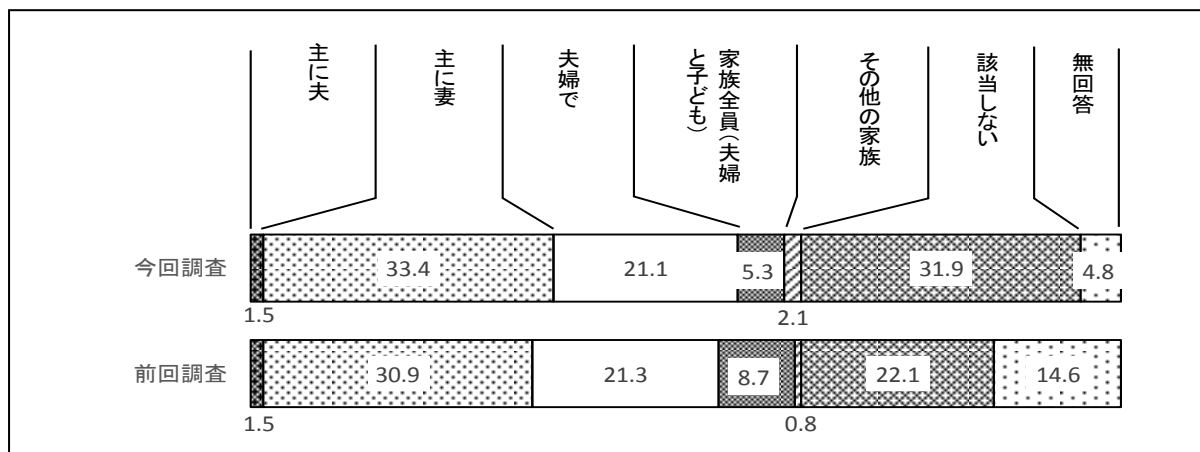
“主に妻”は、女性(40.9%)が男性(23.6%)を大きく17.3ポイント上回る。“夫婦で”は、男性(25.2%)が女性(18.2%)を7ポイント上回る。

◇年齢別

“主に妻”は、60代(39.2%)が最も高く、以下、50代(38.9%)、10代(35.3%)と続く。“夫婦で”の場合も、60代(26.0%)、70代以上(22.6%)と高年代の割合が大きい。

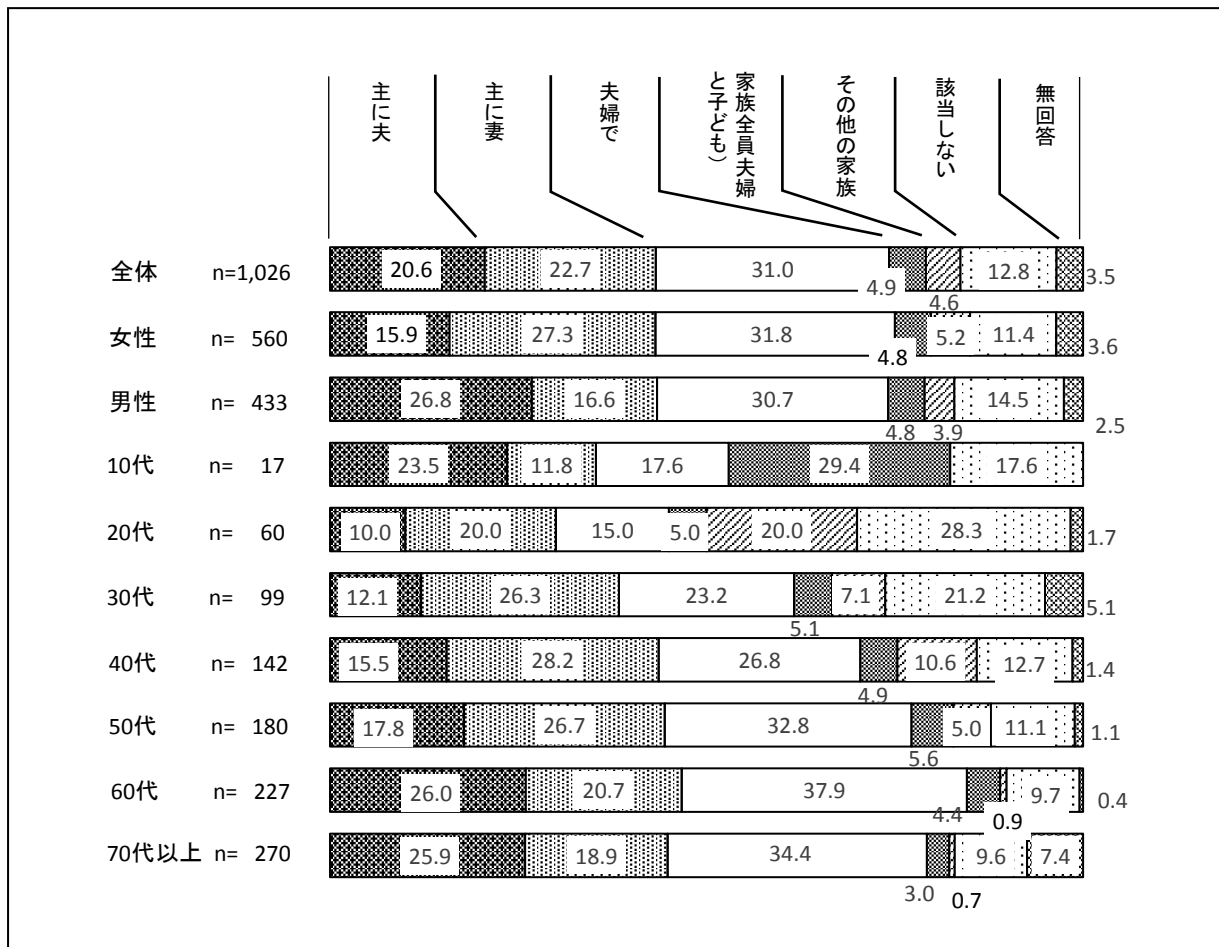
◆前回調査との比較

“該当しない”の割合が9.8ポイント、“主に妻”が2.5ポイントそれぞれ前回調査を上回るのに対して、“家族全員（夫婦と子ども）”は、前回調査より3.4ポイント減少している一方、“夫婦で”や“主に夫”の割合は前回調査とほぼ同じである。



⑧地域の行事参加や近所とのつきあい

◇全体



- 全体では、“夫婦で”が31.0%、“主に妻”が22.7%、“主に夫”が20.6%である。
- “夫婦で”は、女性と男性の割合がほぼ同じ。“主に妻”は、女性が男性を上回り、“主に夫”は、男性が女性を上回る。
- “夫婦で”は、60代を中心に中高年代に多く、“主に妻”は、30代～50代の中年代で多い。また、“家族全員”は10代、“該当しない”は20代～40代の若い世代に特に多い。

◇性別

“夫婦で”は、女性（31.8%）と男性（30.7%）でほぼ同じ。“主に妻”は、女性（27.3%）が男性（16.6%）を10.7ポイント上回り、“該当しない”は、男性（14.5%）が女性（11.4%）を3.1ポイント上回る。

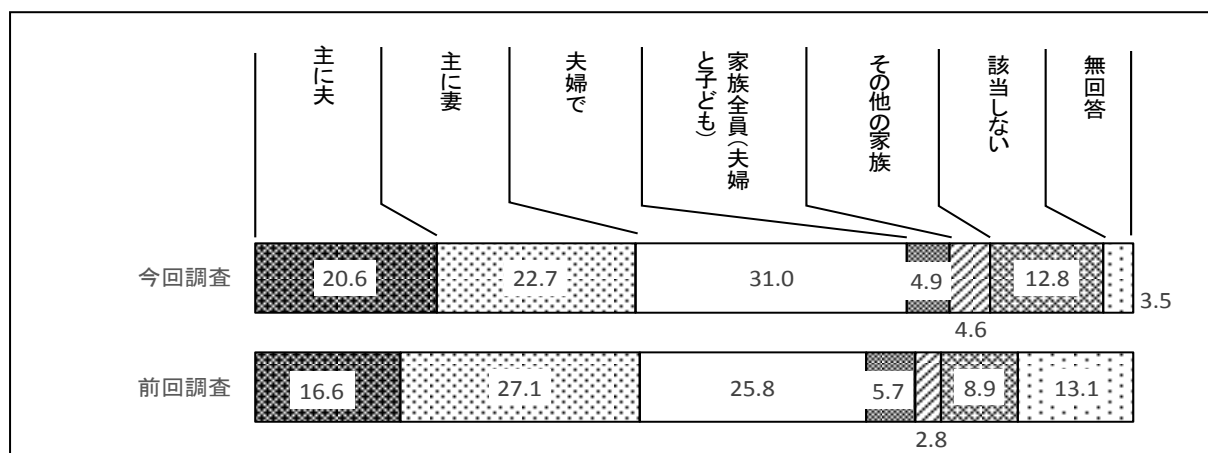
◇年齢別

“夫婦で”は、60代（37.9%）、70代以上（34.4%）、50代（32.8%）の中高年代で多く、“主に妻”は、40代（28.2%）、50代（26.7%）、30代（26.3%）の中年代に多い。また、“該当し

ない”は、20代（28.3%）、30代（21.2%）など、若い年代での割合が高い。

◆前回調査との比較

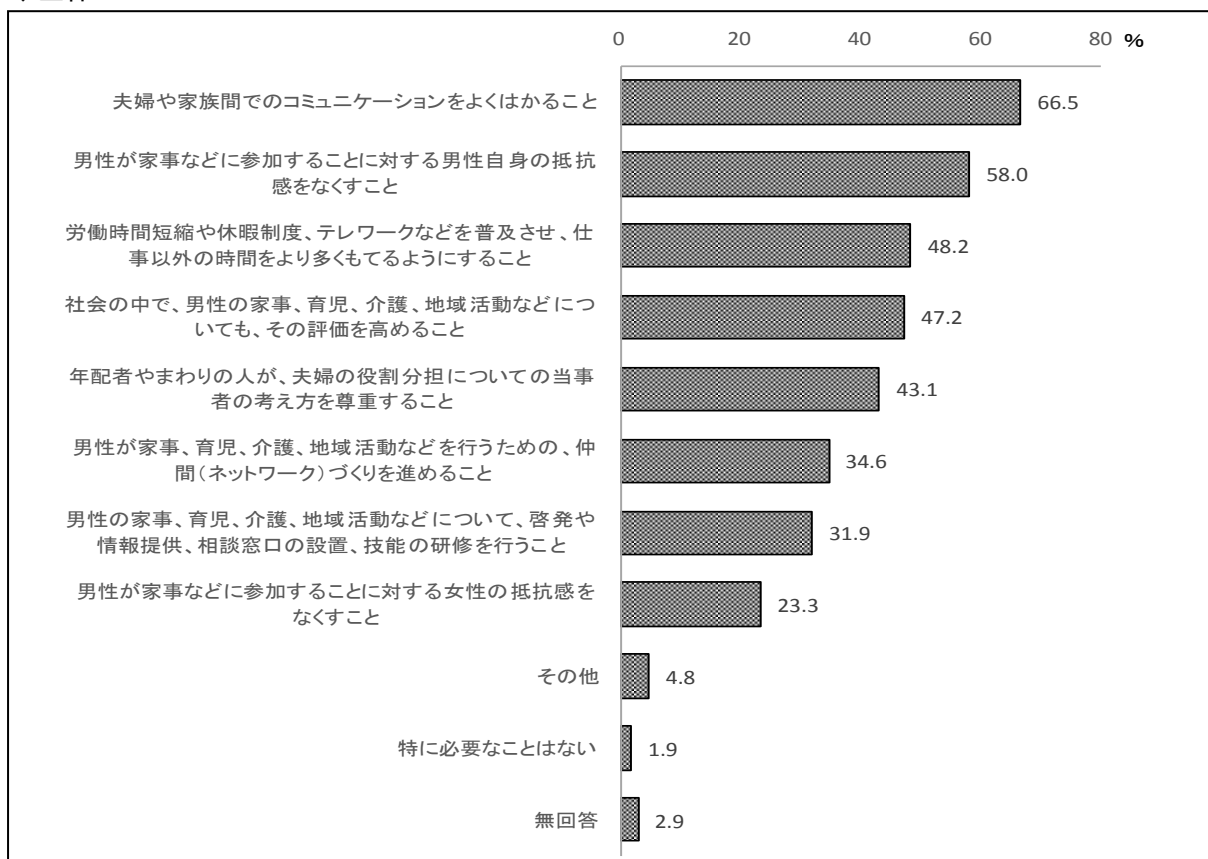
“夫婦で”の割合は5.2ポイント、“主に夫”は4.0ポイント、それぞれ今回調査が前回調査を上回る一方、“主に妻”は前回調査より4.4ポイント減少している。



### (3) 男性が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なこと

問10 今後、男性が女性とともに家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

#### ◇全体

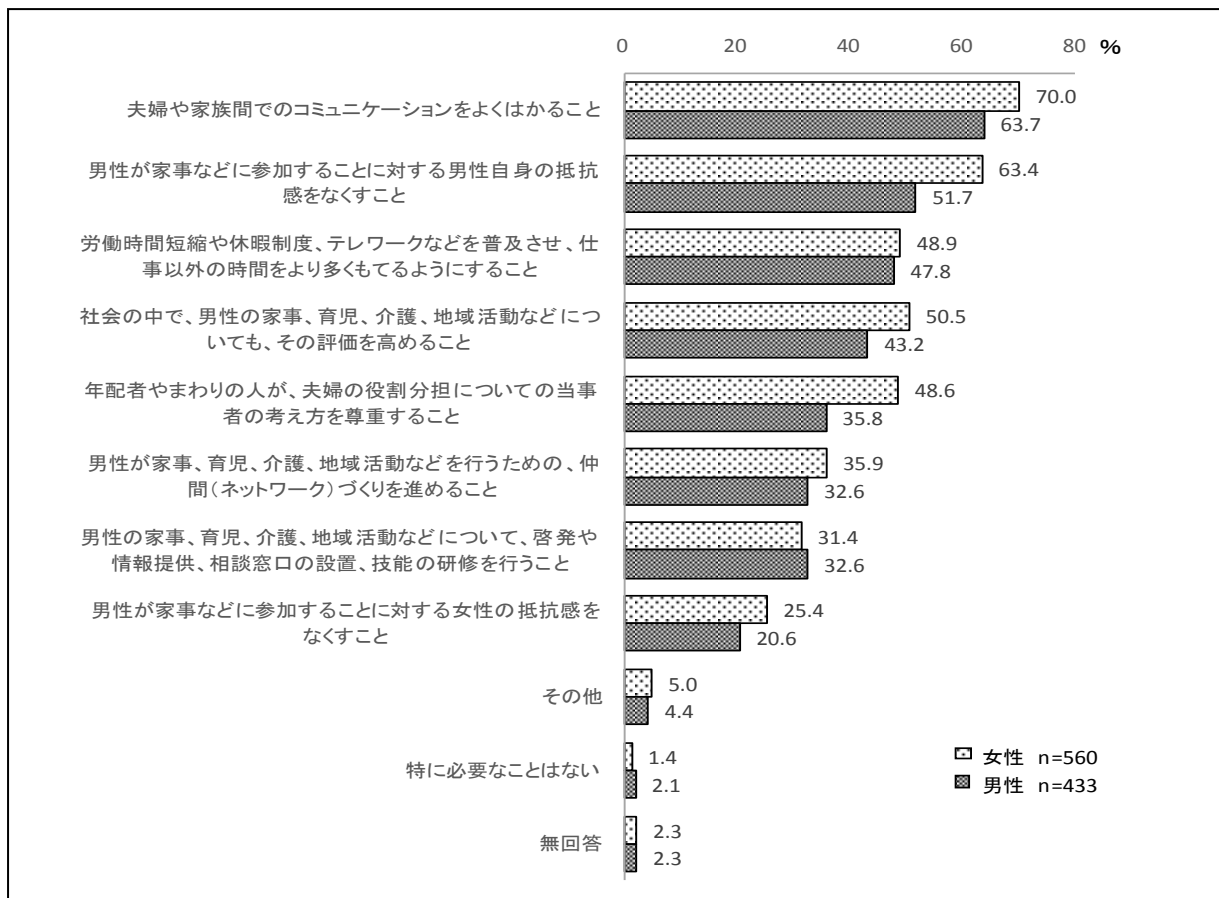


●「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」(66.5%)が最も多く、次いで「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(58.0%)で、ともに回答者の半数以上を占めている。

●また、「労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどを普及させ、仕事以外の時間をより多くもてるようにすること」(48.2%)、「社会の中で、男性の家事、育児、介護、地域活動などについても、その評価を高めること」(47.2%)、「年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担についての当事者の考え方を尊重すること」(43.1%)も、それぞれ4割以上と多い。

#### ◇性別

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」と「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」は、それぞれ女性の割合が男性を上回り、「労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどを普及させ、仕事以外の時間をより多くもてるようにすること」では、女性と男性がほぼ同じである。



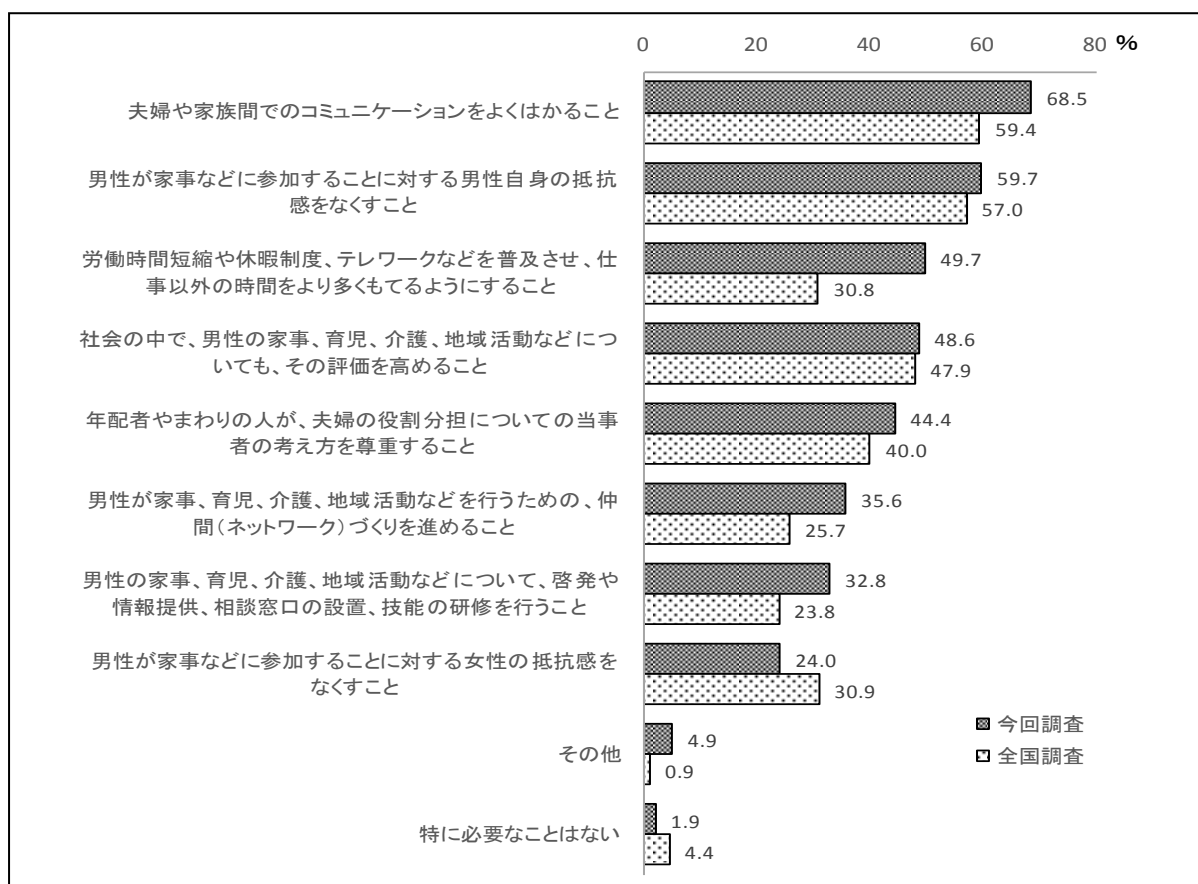
◇年齢別

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」と「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」は、10代と20代、50代の割合が特に高い。

	合計	くに男 す対性 こすが とる家 男事性 性など 自に身 の参加 抵抗す 感をこ なと	こに男 と対性 すが る家 女事性 性など のに抵 抗参加 感をす なくこ すと	シ夫 ヨ婦 ンや を家 よ族 く間 はで かの こミ とニ ケ	え役年 方割配 を分者 尊重に すつわ るいり こての との人 当が 事、 者夫 の婦 考の	て児社 も、会 、介の そ護中 の、で 評地、 価域男 を活 高動の めな家 ると事 こと育 い	に外ワ すの働 る時ク こ間な とをど よを縮 り普や 多及休 くさ暇 もせ制 て、度 る仕、 よ事テ う以レ	研提活 修供動 を、な 行相ど う談に こ窓つ と口い のて児 設、 置置啓 、発護 、技や 能情地 の報域	るへ活 こト男 と動性 なが ト家 ワを 事 行、 ク育 くた づめ の介 り、 を仲 進間 地 域	そ 他	特 に 必 要 な こ と は な い	無 回 答	
全体	1026	58.0	23.3	66.5	43.1	47.2	48.2	31.9	34.6	4.8	1.9	2.9	
年齢別	10代	17	76.5	29.4	76.5	41.2	70.6	70.6	58.8	58.8	5.9		5.9
	20代	60	60.0	25.0	75.0	46.7	48.3	53.3	43.3	38.3	3.3		1.7
	30代	99	56.6	18.2	55.6	43.4	46.5	52.5	15.2	23.2	8.1	2.0	
	40代	142	52.1	23.2	62.7	38.0	44.4	52.8	21.8	23.9	5.6	0.7	1.4
	50代	180	61.7	22.8	71.7	42.8	52.2	51.1	30.0	33.9	5.6	0.6	0.6
	60代	227	57.7	20.3	67.8	42.3	44.9	47.1	37.4	38.8	3.5	3.1	0.9
70代以上	270	59.6	27.8	68.1	45.9	46.3	41.9	36.7	39.3	3.7	2.6	5.9	

## ◆全国調査との比較

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」や「労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどを普及させ、仕事以外の時間をより多くもてるようにすること」などは、福島市（今回調査）の割合が全国を上回り、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」や「社会の中で、男性の家事、育児、介護、地域活動などについても、その評価を高めること」などは、全国とほぼ同じ割合である。

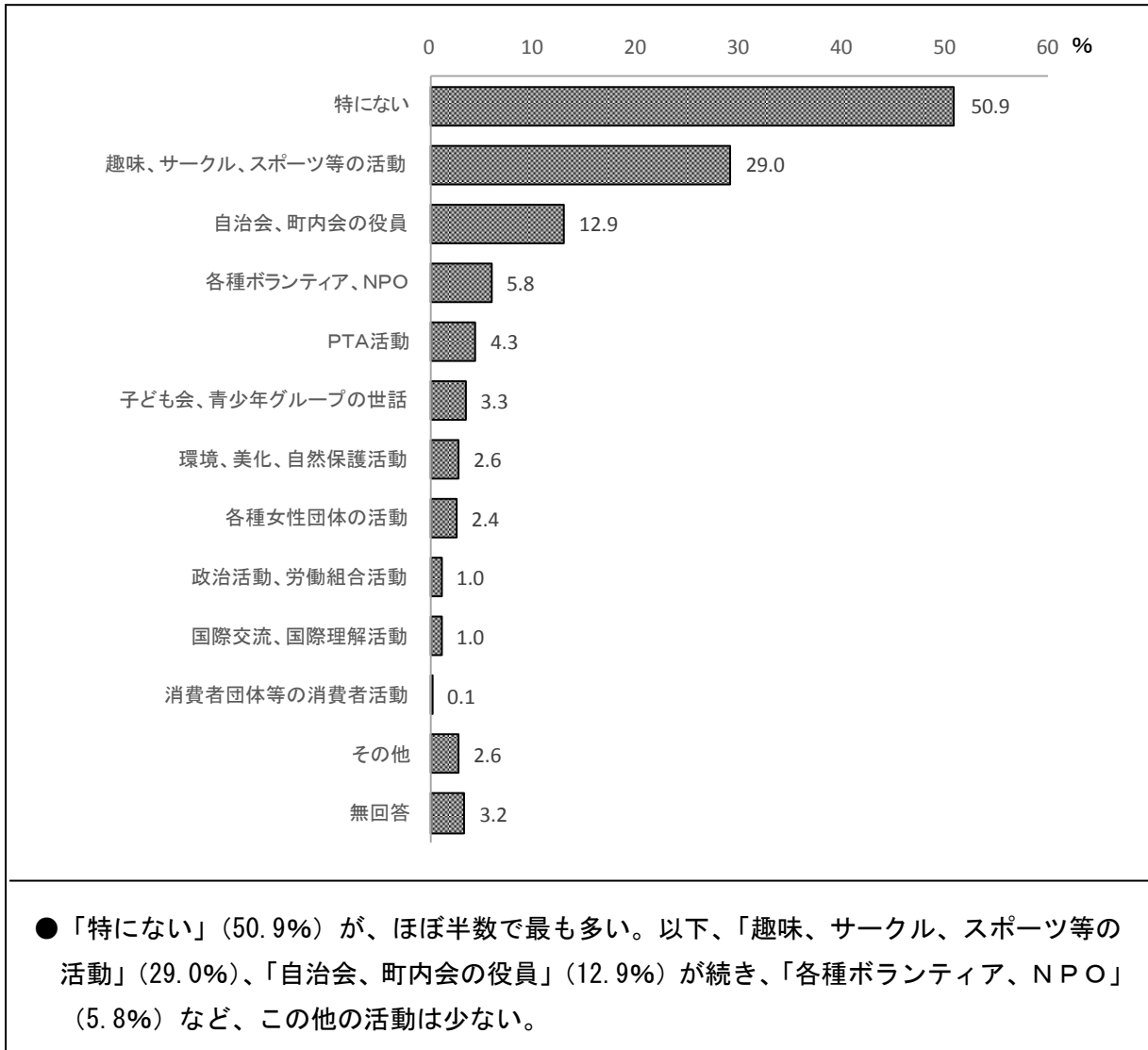




#### (4) 職業以外におこなっている活動

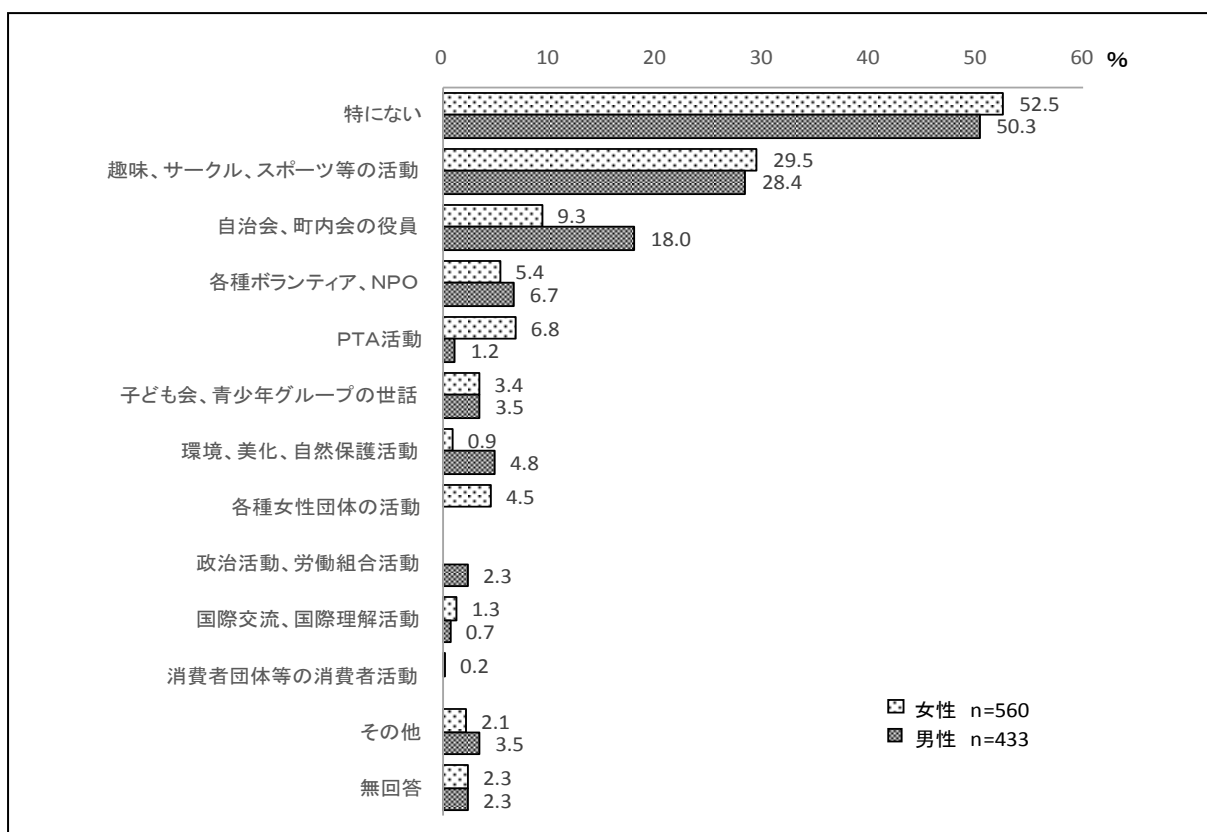
問 1 1 あなたは現在、職業以外におこなっている活動はありますか。(複数回答)

##### ◇全体



##### ◇性別

「特にない」は、女性(52.5%)が男性(50.3%)よりわずかに多いが、ともに半数を占める。また、「趣味、サークル、スポーツ等の活動」も、女性(29.5%)と男性(28.4%)の割合はほぼ同じであるが、「自治会、町内会の役員」では、男性(18.0%)が女性(9.3%)を8.7ポイント上回る。



#### ◇年齢別

「特にない」は、20代（68.3%）が最も多く、次いで50代（59.4%）、10代（58.8%）が続き、70代以上（41.5%）が最も低い。

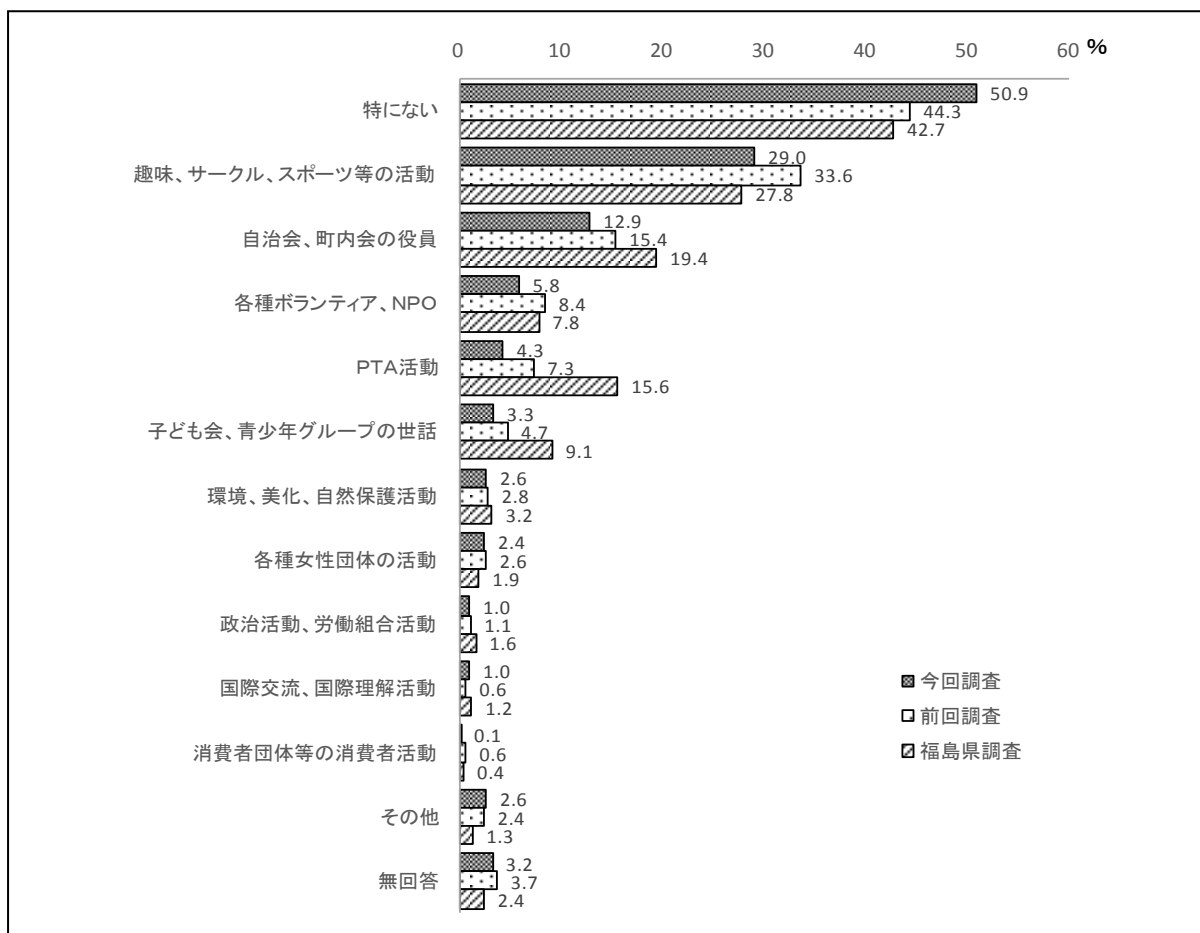
また、「趣味、サークル、スポーツ等の活動」は、60代（33.5%）、70代以上（37.0%）、10代（35.3%）の割合が高く、「自治会、町内会の役員」は、60代（19.4%）、70代以上（17.4%）の高年代に多い。

	合計	特にない	N各種ボランティア、	自治会、町内会の役員	子ども会、青少年グループの世話	PTA活動	各種女性団体の活動	消費者団体等の消費	趣味、サークル、スポーツ等の活動	政治活動、労働組合	環境、美化、自然保護	国際交流、国際理解	その他	無回答
全体	1026	50.9	5.8	12.9	3.3	4.3	2.4	0.1	29.0	1.0	2.6	1.0	2.6	3.2
年齢別	10代	17	58.8	5.9		5.9			35.3					
	20代	60	68.3	1.7	1.7				28.3		1.7	1.7		1.7
	30代	99	57.6	3.0	4.0	6.1	14.1			24.2	2.0	1.0	2.0	
	40代	142	57.7	3.5	9.2	10.6	16.9	0.7		15.5	1.4		0.7	1.4
	50代	180	59.4	5.6	11.1	2.8	2.2	1.7		24.4	0.6	0.6	0.6	2.8
	60代	227	46.3	6.2	19.4	1.3	0.4	5.7	0.4	33.5	0.9	3.5	0.9	4.0
	70代以上	270	41.5	9.3	17.4	1.5		3.0		37.0	1.1	5.6	1.1	3.7

### ◆前回調査・福島県調査との比較

「特にない」は、福島市（今回調査）が福島県を8.2ポイント、また前回調査より6.6ポイントそれぞれ上回る。

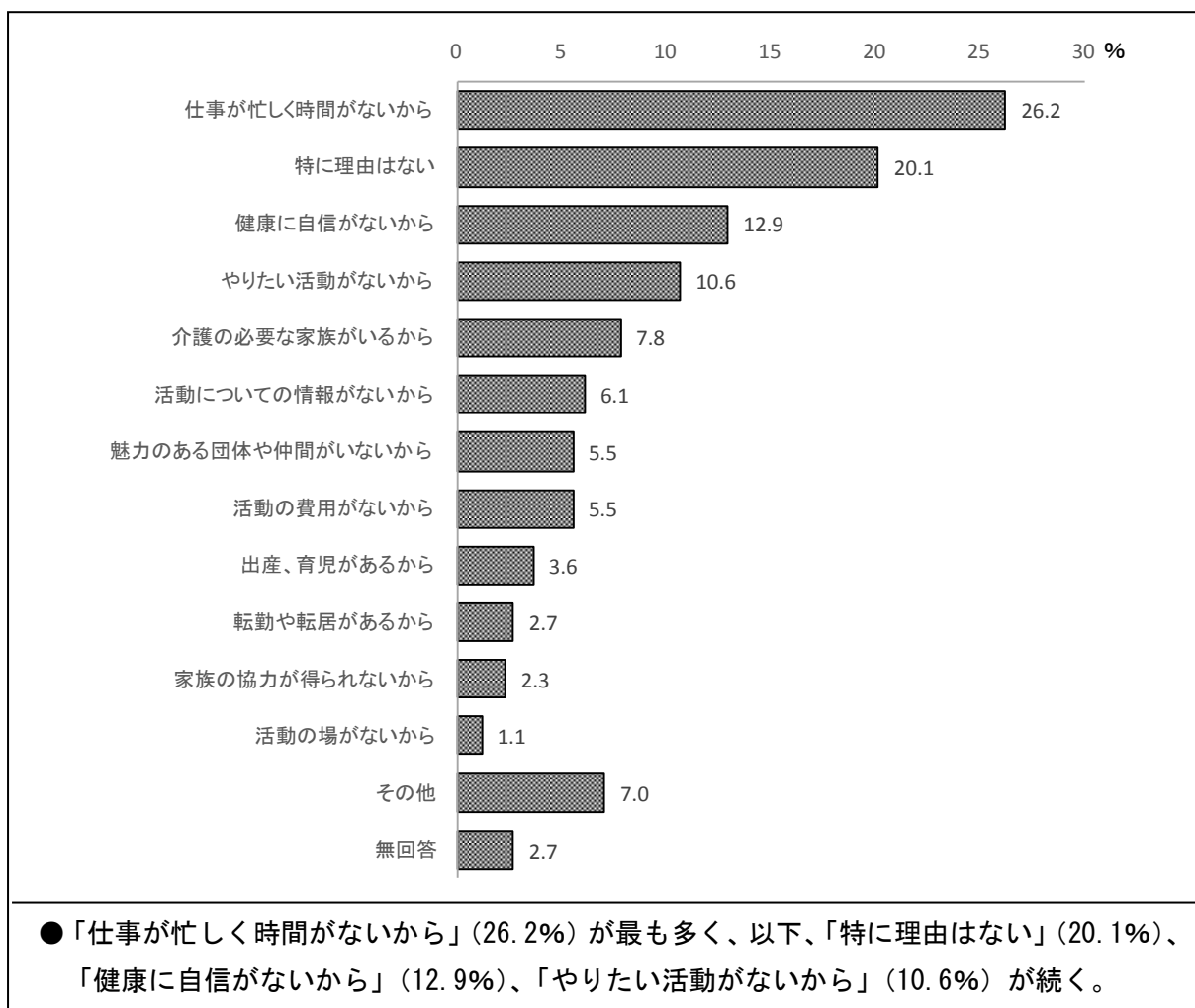
一方、「趣味、サークル、スポーツ等の活動」の場合、福島市（今回調査）と福島県の割合はほぼ同じであるが、前回調査より4.6ポイント減少している。また、「自治会、町内会の役員」や「PTA活動」、「子ども会、青少年グループの世話」では、福島県の割合が福島市（今回調査）より多くなっている。



## (5) 職業以外の活動に参加していない理由

問12 問11で1と答えた方にお聞きします。あなたが問11の活動に参加していない、もしくは参加できない理由は何ですか。(複数回答)

### ◇全体



### ◇性別

「仕事が忙しく時間がないから」は、男性(34.4%)が女性(20.3%)を14.1ポイントと大きく上回る。

また、「特に理由はない」は、女性、男性の割合はほぼ同じであり、「健康に自信がないから」や「介護の必要な家族がいるため」は、女性の方の割合が高い。

